

琉球大学国際地域創造学部規程

平成30年2月28日
制 定

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人琉球大学組織規則第27条第2項の規定に基づき、琉球大学学則に定めるもののほか、琉球大学国際地域創造学部（以下「本学部」という。）の授業科目、単位、履修方法その他必要な事項を定める。

(教育研究上の目的)

第2条 本学部は、複合分野（観光、経営、経済、文学・言語、地理・歴史・人類学）の学際的学び及び各専門分野における体系的な学びを通して、「専門基盤力と地域国際基盤力」を身につけ、複雑化・多様化する国際及び地域課題に挑戦し、解決する高い専門能力を有する人材を養成する教育・研究を行う。

(昼間主及び夜間主コース制)

第3条 国際地域創造学部国際地域創造学科に、学生の教育上の区分として主として昼間に授業を行うコース（以下「昼間主コース」という。）及び主として夜間に授業を行うコース（以下「夜間主コース」という。）を置く。

(教育プログラム)

第4条 昼間主コース及び夜間主コースに、履修上の区分として、次の表に掲げる教育プログラムを置く。

昼間主コース	観光地域デザインプログラム、経営プログラム、経済学プログラム、国際言語文化プログラム、地域文化科学プログラム
夜間主コース	経営プログラム、経済学プログラム、国際言語文化プログラム

2 前項の規定に定めるもののほか、教育プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

(共通教育等の授業科目の種類等)

第5条 共通教育及び専門基礎教育の授業科目の種類、単位数、履修方法等は、琉球大学共通教育等履修規程の定めるところによる。

(専門教育の授業科目の種類等)

第6条 専門教育の授業科目の種類、履修方法等は、別表に掲げるとおりとする。

(授業科目の公示)

第7条 各学期に開講する授業科目、授業時間、単位数及び担当教員は、学期の初めに公示する。ただし、臨時に開講する授業科目については、その都度、公示する。

(単位)

第8条 専門教育の授業科目の単位の計算は、次に掲げる基準により行う。

- (1) 講義及び演習については、15時間の授業をもって1単位とする。ただし、教育上必要があると認められる場合には、30時間の授業をもって1単位とすることができる。
 - (2) 実験、実習及び実技については、45時間の授業をもって1単位とする。ただし、教育上必要があると認められる場合には、30時間の授業をもって1単位とすることができる。
 - (3) 1つの授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち2以上の方法の併用により行う場合において、講義及び演習については係数3（ただし、演習については、教育上必要があると認められる場合には係数1.5とする。）、実験及び実習については係数1（ただし、教育上必要があると認められる場合には係数1.5とする。）に対し、それぞれの授業時間を乗じて得た数値の和が45時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業研究等については、学修の成果を評価して単位を授与することが適当であると認められる場合には、必要な学修を考慮して、単位数を定めるものとする。
- 3 前2項の規定に基づく各授業科目の単位数及び週時間については、別表に掲げるとおりとする。

(登録、試験、単位の認定等)

第9条 登録、試験、単位の認定等については、琉球大学各学部共通細則の定めるところによる。

(編入学)

第10条 編入学については、琉球大学編入学規程の定めるところによる。

(特別編入学)

第11条 特別編入学については、琉球大学学則第29条の2の定めるところによる。

(転入学)

第12条 転入学については、琉球大学転入学規程の定めるところによる。

(再入学)

第13条 再入学については、琉球大学再入学規程の定めるところによる。

(転学部)

第14条 転学部については、琉球大学転学部、転学科、転課程に関する規程の定めるところによる。

(昼夜間主コースの変更)

第15条 昼夜間主コースの変更については、琉球大学転学部、転学科、転課程に関する規程（1972年3月27日制定）を準用する。

(転学)

第16条 本学部の学生で他の大学に入学又は転入学を希望する者は、指導教員及び学部長を経て学長の許可を受けなければならない。

(留学)

第17条 留学については、琉球大学留学等及び特別聴講学生に関する規程の定めるところによる。

(卒業の要件)

第18条 卒業するには、琉球大学（以下「本学」という。）に4年以上在学し、別表に掲げる単位を修得しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、第3年次特別編入学者の卒業の要件は、本学に2年以上在学し、別表に掲げる単位（第3年次特別編入学以前に在学していた大学、短期大学、高等専門学校等で修得した単位のうち、本学の卒業要件に係る単位として換算する単位（以下「換算単位」という。）を含む。）を修得するものとする。この場合において、換算単位については、教授会が判定する。

(教員免許)

第19条 教育職員の免許状授与の資格を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）の定めるところにより、別に定める単位を修得しなければならない。

(研究生)

第20条 研究生については、琉球大学研究生規程の定めるところによる。

(特別聴講学生)

第21条 特別聴講学生については、琉球大学留学等及び特別聴講学生に関する規程の定めるところによる。

(科目等履修生)

第22条 科目等履修生については、琉球大学科目等履修生規程の定めるところによる。

(外国人学生)

第23条 外国人学生については、琉球大学外国人学生規程の定めるところによる。

(指導教員)

第24条 学生の修学, 進路, 就職, 学生生活等の指導のため, 年次ごとに指導教員を置く。
2 前項の規定に定めるもののほか, 指導教員については, 琉球大学における指導教員に関する規程の定めるところによる。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則 (平成31年2月27日)

- 1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成31年3月31日に本学に在学する者については、なお従前の例による。

国際地域創造学部におけるプログラム配属の確定に関する内規

平成 31 年 1 月 23 日
制 定

1. 国際地域創造学部入学者のプログラム配属の確定は、昼間主は 2 年次後期開始時、夜間主は 2 年次前期開始時とする。配属先の決定は、以下の基準と手順によって行う。

【基準】

- ① 学生本人の希望
- ② 入学してからの 3 個学期（夜間主は 2 個学期）の成績（GPA）
※GPA が同一の場合、成績が「A」の科目数が多い順に順位付けする。それでも同一順位の学生が複数いた場合は、「B」「C」「D」の順に、科目数の多い学生を順位の上位とする。
なお、平成 30 年度入学生に関しては、昼間主は 1 年次後学期および 2 年次前学期の成績、夜間主は 1 年次後学期の成績をその対象とする。
- ③ 入学してからの 3 個学期（夜間主は 2 個学期）における合計取得単位数の下限充足（昼間主は 50 単位、夜間主は 32 単位を、合計取得単位数の下限とする）

【手順】

- 1) 基準③を満たしている学生を対象に、第 1 希望のプログラムの受入人員の目安まで GPA の上位者から順に配属を決定する。次に、第 1 希望で配属者数が受入人員の目安に達していないプログラムに対しては、同様の手順を第 2 希望、第 3 希望の順に（昼間主の場合は第 5 希望まで）繰り返し、プログラムの受入人員の目安を考慮して配属する。
 - 2) 基準③を満たしていない学生を対象に、プログラムの残余受入人数をもとに、①と同様の手順に従い、配属を行う。
 - 3) 希望順位を第 5 希望（夜間主の場合は第 3 希望）まで記入していない場合、希望していないプログラムに配属されることがある。また、配属希望届けを指定された期限内に提出しなかった者は、希望に関わらずプログラムを決定することがある。
2. 上記の手順を経て決定した配属プログラムについては、昼間主 2 年次前期終了時まで（9 月末）、夜間主は 1 年次後期終了時（3 月末）までに、掲示等、所定の方法で通知

する。

3. 他学部から転学部を希望する学生の配属年次が 2 年次後期になる場合、本人が配属を希望するプログラムは、受入可能人員枠を確認のうえ、入学後の成績と面接によって、受入の可否を決定する。

附 則

この内規は、平成 31 年 1 月 23 日から施行する。

国際地域創造学部における配属プログラムの変更に関する内規

〔平成 31 年 1 月 23 日〕
制 定

1. 配属プログラムの変更を希望する学生については、所定の手続きを経て学部長がこれを決定する。
2. プログラム配属の変更を希望する学生は、前期もしくは後期の第 13 週から第 16 週終了時までの間に国際地域創造学部長（本学部学務担当）に願書を提出しなければならない。ただし、休学にあるものはこれを認めない。
3. 学部長は学生の願い出に対し、教育委員会に審議を依頼する。教育委員会は、同委員会での協議、プログラム会議の議を経て、翌学期開始前月中旬までに審議結果を教授会に諮るものとする。学部長は教授会での最終審議結果を速やかに本人に通知する。
4. 配属プログラムの変更が可能な人員数は、各プログラムの目安定員の約 5%を上限とする。
5. 選考は成績等を基準に順位付けをして行うが、詳細は別途定める。

附 則

この内規は、平成 31 年 1 月 23 日から施行する。

(別表) 授業科目の種類及び履修方法

国際地域創造学部教職課程

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
学共 500	教職実践演習(中高)	2	(2-0)	4	後	教職科目や教科指導に関する既習内容の省察、現地調査、模擬授業、事例研究等
学共 501	社会科教育法A	2	(2-0)	2~4	前又は後	社会科教育の目標、内容、方法等に関する指導
学共 502	社会科教育法B(地理歴史系)	2	(2-0)	3~4	前又は後	社会科教育(地理歴史系)の目標、内容、方法等に関する指導
学共 503	社会科教育法C	2	(2-0)	3~4	前又は後	社会科教育(公民系)の目標、内容、方法等に関する指導
学共 504	社会科教育法D	2	(2-0)	3~4	前又は後	社会科教育(公民系)の目標、内容、方法等に関する指導
学共 505	地理歴史科教育法	2	(0-2)	3~4	前又は後	地理歴史科教育の目標、内容、方法に関する指導
学共 506	英語科教育法A	2	(2-0)	2	後	指導計画、指導案作成、模擬授業、授業研究
学共 507	英語科教育法B	2	(2-0)	3	前	指導計画、指導案作成、模擬授業、授業研究
学共 508	英語科教育法C	2	(2-0)	3	後	指導計画、指導案作成、模擬授業、授業研究
学共 509	英語科教育法D	2	(2-0)	4	前	指導計画、指導案作成、模擬授業、授業研究

注1: 教員免許取得希望者は教職実践演習についてはそれぞれ所属する教科コースの提供する科目を修得すること。

学部共通基盤専門科目（昼間主コース）

専門基盤力科目

科目番号	授 業 科 目	提供先 プログラム	単位数	週時間	受講 年次	学 期	授 業 内 容
学共100	基礎演習		2	(2-0)	1	前	初年次教育をベースに、大学での学び方、レポートや論文の書き方、情報の検索と活用法、キャリア教育の最初の一步、等について学ぶ。
学共101	観光地域デザイン入門	観光	2	(2-0)	1	前	観光学の基礎概念や基礎理論等について学ぶ。
学共102	経営学入門	経営	2	(2-0)	1	前	経営学の基本的なフレームワークについて理論的・実践的に学習する。
学共103	簿記入門	経営	4	(4-0)	1	前	企業が公表する財務諸表の作成技術である複式簿記の基礎を学ぶ。
学共104	社会科学のためのゲーム論入門	経済	2	(2-0)	1	前	ゲーム理論の基礎的内容についての講義する。
学共105	経済学概論	経済	2	(2-0)	1	前	市場機構の働きや一国の経済活動などの基礎的な内容について、ケース・スタディなどを通して、講義する。
学共106	言語科学入門	国言	2	(2-0)	1	前	言語に対する様々な研究方法を学び、言語を科学的に分析することの基礎を学ぶ。
学共107	地理総合	地域	2	(2-0)	1	前	地理学に関する基礎知識を概観する。
学共108	社会科学のための統計入門	経済	2	(2-0)	1	前	社会科学研究を行う上で習得すべき基礎的なデータ処理と統計学の基礎を講義する。
学共111	観光とサステナビリティ	観光	2	(2-0)	1	後	持続可能な観光を成立させるための要件について多面的な持続可能性の観点から学ぶ。
学共112	マーケティング入門	経営	2	(2-0)	1	後	企業が自社の業績を上げるために展開する活動について、事例を交えてわかりやすく解説する。
学共113	英米文学概論	国言	2	(2-0)	1	後	イギリス・アメリカ文学の基礎知識を作品を通じて通覧し、英米文化に対する理解を深める。
学共114	ヨーロッパ文化論	国言	2	(2-0)	1	後	古代文明から始まり、キリスト教の発展、産業革命を経て現代に至るまで、ヨーロッパ文化の形成と展開の諸相に迫る。
学共115	歴史総合	地域	2	(2-0)	1	後	歴史学に関する基礎知識を概観する。
学共116	人類文化入門	地域	2	(2-0)	1	後	人類文化に関する基礎知識を概観する。
学共121	テーマ型ツーリズム入門	観光	2	(2-0)	2	前	テーマ性が強く、地域の特性を活かした体験型・交流型の要素を取り入れた新しい形態の旅行について学ぶ
学共122	日本経済入門	経済	2	(2-0)	2	前	日本経済の変遷と、現在の日本経済を取り巻く状況や課題について、初歩的な経済理論を用いながら、幅広く解説する。
学共123	英米文化入門	国言	2	(2-0)	2	前	イギリス・アメリカ文化の諸相について、様々な学問的アプローチをとおして理解を深める。
学共124	自然地理学概論	地域	2	(2-0)	2	前	地球表面の自然地理学的事象について概観する。
学共125	サービス経営入門	経営	2	(2-0)	2	前又は後	サービス経営に関する基礎的な知識を、理論とケースから学ぶ。
学共126	会計ファイナンス入門	経営	2	(2-0)	2	後	前半は企業が公表する会計数値の持つ意味を、後半は企業の資金調達の方法等の基礎を学ぶ。

学部共通基盤専門科目（昼間主コース）

地域・国際基盤力科目（プログラム系科目）

科目番号	授 業 科 目	提供先 プログラム	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
学共201	沖縄観光政策入門	観光	2	(2-0)	1～2	前又は後	観光立県・沖縄の観光基本計画、誘客事業、受け入れ体制整備事業など幅広い分野にまたがる観光振興施策について学ぶ。
学共202	沖縄観光ビジネス入門	観光	2	(2-0)	1～2	前又は後	多様な企業が関わる沖縄の観光ビジネスの現状と課題について学ぶ。
学共203	沖縄観光と健康入門	観光	2	(2-0)	1～2	前又は後	健康資源と観光の融合を図るヘルスツーリズムの観点から沖縄の現状と課題について学ぶ。
学共204	沖縄観光資源マネジメント入門	観光	2	(2-0)	1～2	前又は後	沖縄の多様な自然環境や独特な歴史・文化を観光資源として利活用する際の持続可能なマネジメントのあり方を学ぶ。
学共205	地域経済入門	経済	2	(2-0)	1～2	前又は後	人口減少や都市化（過疎・過密）が進む中で、地域経済・社会や地方財政が抱える様々な問題を取り上げ、経済学の視点から考察する。
学共206	国際経済入門	経済	2	(2-0)	1～2	前又は後	国際貿易、国際直接投資、国際金融の基礎知識について講義する。
学共207	経済史入門	経済	2	(2-0)	1～2	前又は後	近代から現代における経済成長の過程及び諸産業の発展過程を講義する。
学共208	社会政策入門	経済	2	(2-0)	1～2	前又は後	社会の問題を検討し、解決する主体や方法を、地域再生、文化政策、貧困問題など今日的テーマで考えていく。
学共209	異文化理解	国言	2	(2-0)	1～2	前又は後	多様な文化背景を持つ英文の講読や、英語によるコミュニケーション活動を通じて異文化についての理解を深める。
学共210	地誌学概論	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	日本及び外国の地誌について概観する。
学共211	日本史概論	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	日本の古代から近現代までの歴史について概観する。
学共212	世界史概論（東洋史）	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	東洋の古代から近現代までの歴史について概観する。
学共213	世界史概論（西洋史）	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	西洋の古代から近現代までの歴史について概観する。
学共214	社会人類学 I	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	社会人類学の体系的な概要について学ぶ。
学共215	考古学 I	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	考古学の体系的な概要について学ぶ。
学共216	民俗学 I	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	民俗学の体系的な概要について学ぶ。
学共217	まちづくり地域興し論	地域	2	(2-0)	2	前又は後	様々な切り口から、まちづくり・地域興しの事例を概観しその手法を身につけ、地域資源を生かした提言ができるようにする。
学共218	マーケティング実践研究	経営	2	(2-0)	2	前又は後	事例を通じて企業のマーケティング活動の内容を理解し、提示された課題に対して討議を行う。

学部共通基盤専門科目（昼間主コース）

地域・国際基盤力科目（プログラム複合科目）

科目番号	授 業 科 目	主担当 プログラム	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
学共250	島嶼観光入門	観光	2	(2-0)	1～2	前又は後	島嶼の資源を持続的に活かした観光のあり方について、島嶼の概念や分類、島嶼経済の視点を含め多面的に学ぶ。
学共251	Introduction to Global Business	経営	2	(2-0)	1～2	前又は後	グローバルな視点から、企業が直面する国際課題と今後の展望について考察する。
学共252	沖縄産業入門	経営	2	(2-0)	1～2	前又は後	沖縄を基軸とする産業の特徴と問題点を把握し、産業振興に向けた課題について考察する。
学共253	島嶼社会経済入門	経済	2	(2-0)	1～2	前又は後	島嶼における持続的・自律的な社会と経済について様々な視点から考察する。
学共254	沖縄経済入門	経済	2	(2-0)	1～2	前又は後	沖縄の産業構造、雇用、財政、沖縄振興策等について講義する。
学共255	EU研究	国言	2	(2-0)	1～2	前又は後	EU（欧州連合）の始まりと現状、その深化がもたらすヨーロッパ諸国の変化とグローバルな活動などについて概観する。
学共256	メディアの英語	国言	2	(2-0)	1～2	前又は後	各種メディアをとおして生きた英語を学び、総合的英語力の向上を目指す。
学共257	地域文化資源と博物館	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	地域の文化資源と博物館の基礎知識を概観する。
学共258	人の移動とグローバル社会	地域	2	(2-0)	1～2	前又は後	人の移動とグローバル社会について事例を取り上げて概観する。

学部共通基盤専門科目（夜間主コース）

専門基盤力科目

科目番号	授 業 科 目	提供先 プログラム	単位数	週時間	受講 年次	学 期	授 業 内 容
B学共100	基礎演習		2	(2-0)	1	前	初年次教育をベースに、大学での学び方、レポートや論文の書き方、情報の検索と活用法、キャリア教育の最初の一步、等について学ぶ。
B学共102	経営学入門	経営	2	(2-0)	1	前	経営学の基本的なフレームワークについて理論的・実践的に学習する。
B学共104	社会科学のためのゲーム論入門	経済	2	(2-0)	1	後	ゲーム理論の基礎的内容についての講義する。
B学共105	経済学概論	経済	2	(2-0)	1	前	市場機構の働きや一国の経済活動などの基礎的な内容について、ケース・スタディなどを通して、講義する。
B学共108	社会科学のための統計入門	経済	2	(2-0)	1	前	社会科学研究を行う上で習得すべき基礎的なデータ処理と統計学の基礎を講義する。
B学共256	メディアの英語	国言	2	(2-0)	1	前	各種メディアをとおして生きた英語を学び、総合的英語力の向上を目指す。
B学共112	マーケティング入門	経営	2	(2-0)	1	後	企業が自社の業績を上げるために展開する活動について、事例を交えてわかりやすく解説する。
B学共122	日本経済入門	経済	2	(2-0)	1	後	現代の日本が直面している様々な経済問題について、初歩的な経済理論を用いて解説する。
B学共118	実用英語演習 I	国言	2	(2-0)	1	後	社会におけるさまざまな場面において英語で情報を発信できる総合的英語力を養成する。
B学共124	自然地理学概論	地域	2	(2-0)	2	前又は後	地球表面の自然地理学的事象について概観する。
B学共211	日本史概論	地域	2	(2-0)	2	前又は後	日本の古代から近現代までの歴史について概観する。
B学共212	世界史概論(東洋史)	地域	2	(2-0)	2	前又は後	東洋の古代から近現代までの歴史について概観する
B学共213	世界史概論(西洋史)	地域	2	(2-0)	2	前又は後	西洋の古代から近現代までの歴史について概観する。
B学共214	社会人類学 I	地域	2	(2-0)	2	前又は後	社会人類学の体系的な概要について学ぶ。
B学共215	考古学 I	地域	2	(2-0)	2	前又は後	考古学の体系的な概要について学ぶ。
B学共216	民俗学 I	地域	2	(2-0)	2	前又は後	民俗学の体系的な概要について学ぶ。
B学共220	経済地理学	地域	2	(2-0)	2	前又は後	立地論などをテーマとした地理学について学ぶ。

観光地域デザインプログラム専門科目（基礎科目）

ヘルスケアデザイン&ツーリズム分野

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授 業 内 容
観光201	ヘルスツーリズム論	2	(2-0)	2	前又は後	健康と観光の融合を図るヘルスツーリズムの概念および対象領域について地域資源、地域との関わりから学ぶ
観光202	バリアフリー観光論	2	(2-0)	2	前又は後	バリアフリー関連法規、社会インフラを概説したうえで障害疑似体験やフィールド学習を通して体験的に学ぶ
観光203	スパマネジメント論	2	(2-0)	2～3	前又は後	観光癒し産業の事例としてスパを題材に、マネジメント理論と実践を交えた講義をオムニバス形式で学ぶ

観光地開発分野

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授 業 内 容
観光211	観光経済学	2	(2-0)	2	前又は後	観光事象をマクロ及びミクロ経済学の観点から講義する
観光212	観光政策論	2	(2-0)	2	前又は後	21世紀の基幹産業と位置づけられる日本の「グローバル観光戦略」と沖縄県をはじめ地方自治体の観光政策について学ぶ
観光213	国際観光論	2	(2-0)	2～3	前又は後	世界的に拡大を続ける国際観光の現状と課題、観光地ブランド力、沖縄の国際観光の現状などについて学ぶ
観光214	観光心理学	2	(2-0)	2～3	前又は後	観光現象を心理的側面から捉える観光心理学を概観し、観光目的地の魅力特性の分析など応用的側面を学ぶ

地域資源マネジメント分野

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授 業 内 容
観光221	観光地理学	2	(2-0)	2	前又は後	観光を地理的、空間的なシステムとして理解し、その形態や発展のあり方について学ぶ
観光222	観光社会学・基礎	2	(2-0)	2	前又は後	観光の社会的利益に関する事例を学び、さらにそれを議論するための社会学的視点を身につける
観光223	エコツーリズム論・基礎	2	(2-0)	2	前又は後	エコツーリズムの定義や理念を発生経緯から論じ、国内外で展開されるエコツーリズムの現状や問題点、課題を事例を通して学ぶ
観光224	観光自然人類学	2	(2-0)	2	前又は後	なぜ私たちヒトは旅をするのかを、地球史の時間的スケールから学ぶ
観光225	自然観光資源概論	2	(0-2)	2～3	前又は後	自然を観光資源とする多様な自然観光について、持続可能な利活用と地域振興の視点からそのあり方を実践的に学ぶ
観光226	文化観光資源概論	2	(0-2)	2～3	前又は後	地域の多様な歴史・文化遺産を観光資源とする文化観光について、持続可能な利活用と地域振興の視点からそのあり方を実践的に学ぶ
観光227	社会調査法	2	(2-0)	2～3	前又は後	社会調査を行うための基礎的な方法と心構えを学び、調査全体の設計を現実的に行うことのできる能力を身につける
観光228	観光地における環境教育	2	(2-0)	2～3	前又は後	持続可能な開発のための教育(ESD)に基づく環境教育の視点から、観光地形成に必要な対象者及び旅行者に対する教育の機会創出とその教育内容について学ぶ
観光229	ヘリテージツーリズム論・基礎	2	(2-0)	2～3	前又は後	文化遺産や自然遺産を観光資源として利用するヘリテージツーリズムの理論と方法論を学ぶ

観光ビジネス分野

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授 業 内 容
観光231	旅行ビジネス論	2	(2-0)	2	前又は後	旅行業の業務内容、地域主導型の旅行業、観光事業について実践的に学ぶ
観光232	観光関連法規・基礎	2	(2-0)	2～3	前又は後	民法・商法という流れの中に旅行業法を位置付けて、概念の基礎を学ぶ
観光233	医療と観光	2	(2-0)	2～3	前又は後	観光と保健・医療の結びつきのうち、諸外国で顕在化しつつある、診断・治療・療養の段階のものを事例を通して学ぶ
観光234	交通サービス論	2	(2-0)	2～3	前又は後	各交通機関に関わるサービス経営の現状と課題について講義する
観光235	物流サービス論	2	(2-0)	2～3	前又は後	産業活動や国民生活の基盤となる物流サービスの概要を講義する

観光語学科目

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授 業 内 容
観光241	ツーリズム英語・基礎	2	(2-0)	2～4	前又は後	観光産業分野において必要な英語の基礎的能力を身につける
観光242	ツーリズム・ビジネス英語・基礎	2	(2-0)	2～4	前又は後	旅行業界や宿泊産業などの観光産業分野において専門的に活躍する上で必要な高次の英語能力を身につける
観光243	ツーリズム中国語・基礎	2	(2-0)	2～4	前又は後	観光産業分野において必要な中国語能力を身につける
観光244	ツーリズム韓国語・基礎	2	(2-0)	2～4	前又は後	観光産業分野において必要な韓国語能力を身につける

観光地域デザインプログラム専門科目（応用科目）

ヘルスケアデザイン&ツーリズム分野

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授 業 内 容
観光301	ウェルネスツーリズム論	2	(2-0)	3～4	前又は後	旅行を通して心身共に美と健康を求めるウェルネスツーリズムの理論、市場、プログラムを先進事例を通して学ぶ
観光302	海洋レジャー産業論	2	(2-0)	3～4	前又は後	海洋レジャー産業分野としてダイビング産業を中心に利活用の方策と課題を学ぶ
観光303	メディカルツーリズム論	2	(2-0)	3～4	前又は後	治療や手術、検診など医療を目的とした観光の事業化の先進事例を実践的に学ぶ

観光地開発分野

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授 業 内 容
観光311	Tourism Development	2	(2-0)	3～4	前又は後	島嶼地域であるハワイの観光産業の現状と課題を通して、持続可能な観光開発のあり方について学ぶ
観光312	観光統計論	2	(2-0)	3～4	前又は後	観光に関連する各種統計の利用法や限界、分析手法について学ぶ
観光313	観光地計画論	2	(2-0)	3～4	前又は後	土木・建築等基幹領域の計画技術と比較しながら、魅力特性（観光対象化）・観光地発展モデルなど観光学特有のパラダイムを通し、観光地計画の特性とその体系的記述の可能性を講義する
観光314	観光地危機管理論	2	(2-0)	3～4	前又は後	観光地経営におけるリスクにはどのようなものがあるかを明らかにし、観光地の危機管理対策を学ぶ

地域資源マネジメント分野

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授 業 内 容
観光321	観光社会学・応用	2	(2-0)	3～4	前又は後	観光現象の社会的局面に関する議論について、事例に基づく座学とグループワークの繰り返しを通じて学ぶ
観光322	エコツーリズム論・応用	2	(2-0)	3～4	前又は後	エコツーリズムの発展的なあり方として、次代が求める環境共生型観光の構築に向けた取り組みについて、人材育成や資源管理、観光施設整備の視点から多角的に学ぶ
観光323	観光生態学	2	(2-0)	3～4	前又は後	稀少動植物種や島嶼生態系などを具体的な例に、持続可能な観光の推進に不可欠な生態学的な思考と手法について学ぶ
観光324	観光人類学	2	(2-0)	3～4	前又は後	異文化の形成過程をさまざまな観点から学び、異文化を理解する姿勢を身につける
観光325	観光景観論	2	(2-0)	3～4	前又は後	観光景観の特性や政策・制度について解説し、観光地における景観形成のあり方や手法を学ぶ
観光326	インタープリテーション論	2	(2-0)	3～4	前又は後	インタープリテーション（解説活動）の歴史や役割、その技術と手法について実践的に学ぶ ＊観光ガイドの技術論も含む
観光327	学習旅行と観光	2	(2-0)	3～4	前又は後	環境や開発、平和をテーマとしたスタディツアーや教育旅行（修学旅行を含む）の役割について理解し、その現状と課題、可能性について実践的に学ぶ
観光328	ヘリテージツーリズム論・応用	2	(2-0)	3～4	前又は後	ヘリテージツーリズムの現場における観光現象の実態を、フィールドワークを通じて学ぶ

観光ビジネス分野

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授 業 内 容
観光331	ホテル経営論	2	(2-0)	3～4	前又は後	国内・外ホテルの経営戦略及び実践手法について講義する
観光332	観光関連法規・応用	2	(2-0)	3～4	前又は後	観光関連法規の基礎概念を踏まえて、旅行ビジネス関連の約款について学ぶ
観光333	運輸ビジネス論	2	(2-0)	3～4	前又は後	各交通機関の経営戦略や経営実態を学ぶとともに、運輸ビジネス全般の特質や課題を考察をしていく。

観光語学科目

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授 業 内 容
観光341	ツーリズム英語・応用	2	(2-0)	3～4	前又は後	「ツーリズム英語・基礎」の上級編
観光342	ツーリズム・ビジネス英語・応用	2	(2-0)	3～4	前又は後	「ツーリズム・ビジネス英語・基礎」の上級編
観光343	ツーリズム中国語・応用	2	(2-0)	3～4	前又は後	「ツーリズム中国語・基礎」の上級編
観光344	ツーリズム韓国語・応用	2	(2-0)	3～4	前又は後	「ツーリズム韓国語・基礎」の上級編

プログラム専門科目（必修科目）

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授 業 内 容
観光360	卒業研究	2	(2-0)	4	後	観光地域デザインプログラムを卒業するための集大成科目として、各自が個々の専門性に根ざした研究を進める

観光地域デザインプログラム（地域・国際実践力科目）

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授 業 内 容
観光150	インターンシップ	2	(0-2)	1～3	前又は後	観光関連産業・観光行政等の現場での業務体験を通じて実務について理解し、自らのキャリア形成に資す
観光250	観光地域デザイン海外演習	2	(2-0)	2～3	前又は後	観光地の形成や観光産業の実態について、海外の現場を通じて学ぶ
観光251	観光フィールドワーク演習	2	(2-0)	2～4	前又は後	観光の現場が抱える課題や現状を分析するために必要な知識や手法を実際のフィールドワークを通じて学ぶ
観光252	観光地域デザイン・ブレ演習	2	(0-2)	2	後	観光の個別課題について各ゼミの専門領域を通じて学ぶための基礎的知識や学び方を獲得する
観光350	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	(0-2)	3	前	観光の個別課題について、各ゼミの専門領域を通じて学ぶ
観光351	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	(0-2)	3	後	観光の個別課題について、各ゼミの専門領域を通じて学ぶ
観光450	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	(0-2)	4	前	観光の個別課題について、各ゼミの専門領域を通じて学ぶ
観光451	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	(0-2)	4	後	観光の個別課題について、各ゼミの専門領域を通じて学ぶ

観光地域デザインプログラム専門科目(基礎科目)
ヘルスケアデザイン&ツーリズム分野

科目番号	授 業 科 目	単 位	年次	学期	備考
観光201	ヘルスツーリズム論	2	2	前又は後	選・必
観光202	バリアフリー観光論	2	2	前又は後	選・必

科目番号	授 業 科 目	単 位	年次	学期	備考
観光203	スパマネジメント論	2	2~3	前又は後	

観光地開発分野

科目番号	授 業 科 目	単 位	年次	学期	備考
観光211	観光経済学	2	2	前又は後	選・必
観光212	観光政策論	2	2	前又は後	選・必

科目番号	授 業 科 目	単 位	年次	学期	備考
観光213	国際観光論	2	2~3	前又は後	
観光214	観光心理学	2	2~3	前又は後	

地域資源マネジメント分野

科目番号	授 業 科 目	単 位	年次	学期	備考
観光221	観光地理学	2	2	前又は後	選・必
観光222	観光社会学・基礎	2	2	前又は後	選・必
観光223	エコツーリズム論・基礎	2	2	前又は後	選・必
観光224	観光自然人類学	2	2	前又は後	選・必
観光225	自然観光資源概論	2	2~3	前又は後	

科目番号	授 業 科 目	単 位	年次	学期	備考
観光226	文化観光資源概論	2	2~3	前又は後	
観光227	社会調査法	2	2~3	前又は後	
観光228	観光地における環境教育	2	2~3	前又は後	
観光229	ヘリテージツーリズム論・基礎	2	2~3	前又は後	

観光ビジネス分野

科目番号	授 業 科 目	単 位	年次	学期	備考
観光231	旅行ビジネス論	2	2	前又は後	選・必
観光232	観光関連法規・基礎	2	2~3	前又は後	
観光233	医療と観光	2	2~3	前又は後	

科目番号	授 業 科 目	単 位	年次	学期	備考
観光234	交通サービス論	2	2~3	前又は後	
観光235	物流サービス論	2	2~3	前又は後	

観光語学科目

科目番号	授 業 科 目	単 位	年次	学期	備考
観光241	ツーリズム英語・基礎	2	2~4	前又は後	
観光242	ツーリズム・ビジネス英語・基礎	2	2~4	前又は後	

科目番号	授 業 科 目	単 位	年次	学期	備考
観光243	ツーリズム中国語・基礎	2	2~4	前又は後	
観光244	ツーリズム韓国語・基礎	2	2~4	前又は後	

観光地域デザインプログラム専門科目(応用科目)
ヘルスケアデザイン&ツーリズム分野

科目番号	授 業 科 目	単 位	年次	学期	備考
観光301	ウェルネスツーリズム論	2	3~4	前又は後	
観光302	海洋レジャー産業論	2	3~4	前又は後	

科目番号	授 業 科 目	単 位	年次	学期	備考
観光303	メディカルツーリズム論	2	3~4	前又は後	

観光地開発分野

科目番号	授 業 科 目	単 位	年次	学期	備考
観光311	Tourism Development	2	3~4	前又は後	
観光312	観光統計論	2	3~4	前又は後	

科目番号	授 業 科 目	単 位	年次	学期	備考
観光313	観光地計画論	2	3~4	前又は後	
観光314	観光地危機管理論	2	3~4	前又は後	

地域資源マネジメント分野

科目番号	授 業 科 目	単 位	年次	学期	備考
観光321	観光社会学・応用	2	3~4	前又は後	
観光322	エコツーリズム論・応用	2	3~4	前又は後	
観光323	観光生態学	2	3~4	前又は後	
観光324	観光人類学	2	3~4	前又は後	

科目番号	授 業 科 目	単 位	年次	学期	備考
観光325	観光景観論	2	3~4	前又は後	
観光326	インタープリテーション論	2	3~4	前又は後	
観光327	学習旅行と観光	2	3~4	前又は後	
観光328	ヘリテージツーリズム論・応用	2	3~4	前又は後	

観光ビジネス分野

科目番号	授 業 科 目	単 位	年次	学期	備考
観光331	ホテル経営論	2	3~4	前又は後	
観光332	観光関連法規・応用	2	3~4	前又は後	

科目番号	授 業 科 目	単 位	年次	学期	備考
観光333	運輸ビジネス論	2	3~4	前又は後	

観光語学科目

科目番号	授 業 科 目	単 位	年次	学期	備考
観光341	ツーリズム英語・応用	2	3~4	前又は後	
観光342	ツーリズム・ビジネス英語・応用	2	3~4	前又は後	

科目番号	授 業 科 目	単 位	年次	学期	備考
観光343	ツーリズム中国語・応用	2	3~4	前又は後	
観光344	ツーリズム韓国語・応用	2	3~4	前又は後	

プログラム専門科目（必修科目）

科目番号	授 業 科 目	単 位	年次	学期	備考
観光360	卒業研究	2	4	後	必修

科目番号	授 業 科 目	単 位	年次	学期	備考

観光地域デザインプログラム専門科目（地域・国際実践力科目）

科目番号	授 業 科 目	単 位	年次	学期	備考
観光150	インターンシップ	2	1~3	前又は後	
観光250	観光地域デザイン海外演習	2	2~3	前又は後	
観光251	観光フィールドワーク演習	2	2	前又は後	
観光252	観光地域デザイン・プレ演習	2	2	後	必修

科目番号	授 業 科 目	単 位	年次	学期	備考
観光350	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	3	前	必修
観光351	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	3	後	必修
観光450	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	4	前	必修
観光451	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	4	後	必修

卒業要件 観光地域デザインプログラム

授業科目の区分		必修	選択	選択必修	
共通教育	教養領域	健康運動系科目	2	6	
		人文系科目	2		
		社会系科目	2		
		自然系科目	2		
	総合領域	総合	4		
		琉大特色科目・地域創生科目			
		キャリア関係科目			
	基幹領域	情報関係科目	8		
		第1外国語(英語)			
		第2外国語			
小計		24	6		
共通教育科目総計		30			
専門教育	学部共通基盤専門科目	専門基盤力科目	8	6	
		地域・国際基盤力科目(プログラム系科目)		6	
		地域・国際基盤力科目(プログラム複合科目)			4
	プログラム専門科目	観光地域デザインプログラム専門科目	2	20	10
		地域・国際実践力科目	10	2	
	地域・国際実践力科目(読替科目)			26	
	小計		20	60	14
	専門教育科目総計		94		
総単位数		124			

- 卒業単位は合計124単位以上とする。
- 共通教育科目は30単位とする。

教養領域	健康運動系科目	2単位以上
	人文系科目	2単位以上
	社会系科目	2単位以上
	自然系科目	2単位以上
総合領域	琉大特色・地域創生及びキャリア関係科目	4単位以上
健康運動系科目を除く教養領域・総合領域及び情報関係科目		6単位以上
基幹領域	第1外国語(英語)	8単位以上
	第2外国語	4単位以上

注1) 共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。

- 専門科目は94単位以上とする。
 - 学部共通基盤専門科目は以下のとおり合計24単位以上を履修する。
 - 専門基盤力科目は、基礎演習(2単位・必修)を含む14単位以上を履修する。
 - ・専門基盤力科目のうち、観光地域デザインプログラム提供の観光地域デザイン入門(2単位)、観光とサステナビリティ(2単位)、テーマ型ツーリズム入門(2単位)の3科目及び、2つ以上の他のプログラム提供の科目を、それぞれ1科目以上履修する。
 - 地域・国際基盤力科目は、10単位以上履修する。
 - ・プログラム系科目を6単位以上を履修する。
 - ・プログラム複合科目(選択必修)を4単位以上を履修する。
 - プログラム専門科目は以下のとおり合計70単位以上を履修する。
 - 観光地域デザインプログラム専門科目は、卒業研究(2単位・必修)を含む32単位以上を履修する。
 - 観光地域デザインプログラム専門科目のうち、以下の科目(選択必修)から5科目以上を履修する。
 - ・観光経済学(2単位)、観光地理学(2単位)、観光社会学・基礎(2単位)、観光政策論(2単位)、旅行ビジネス論(2単位)、ヘルスツーリズム論(2単位)、バリアフリー観光論(2単位)、エコツーリズム論・基礎(2単位)、観光自然人類学(2単位)
 - 地域・国際実践力科目は、観光地域デザイン・プレ演習(必修・2単位)、地域・国際実践力演習I~IV(必修・8単位)を含む12単位以上を履修する。
 - 他プログラム・他学部提供の専門科目は、プログラム専門科目(地域・国際実践力科目)の単位として読み替えることができる。
 - 学部共通基盤専門科目(24単位)及びプログラム専門科目(32単位)を超過した分は、プログラム専門科目(地域・国際実践力科目)の単位として読み替えることができる。
 - 一学期に登録できる単位数の上限は20単位(共通教育科目を含め)とする。ただし、集中講義はこの中に含まない。
 - 直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は、指導教員の指導・承認を得て26単位までの登録を認める。
 - GPAの値にかかわらず、博物館学芸員等の資格取得予定者は、指導教員の指導・承認を得て登録単位の上積みをも6単位まで認める。ただし、超過する分は資格取得に必要な該当科目とする。
 - 資格取得希望者に該当する者のGPAが3.0以上の場合でも26単位までとする。

注2) 夜間主コースに開講される授業科目から履修することができ、そのうち40単位までは卒業単位として認められる。

プログラム専門科目（昼間主コース）
 経営プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
経営201	組織行動論	2	(2-0)	2	前又は後	組織における人間行動に関する基本的なフレームワークについて理論的・実践的に学習する。
経営202	経営組織論	2	(2-0)	2	前又は後	経営組織のマネジメントと組織を通じたキャリア形成に関する理論・学説を体系的に学び、実践に活用できるよう事例分析を行う。
経営203	観光情報論	2	(2-0)	2	前又は後	デスティネーション（観光地）を効果的にマーケティングする際に必要とされる観光情報システムの構築について考える。
経営204	観光マネジメント論	2	(2-0)	2	前又は後	観光地、観光客、観光事業に関する系統的なマネジメントの基礎を学ぶ。
経営205	会計学	2	(2-0)	2	前又は後	現代の企業会計のフレームワークと、貸借対照表・損益計算書の基礎構造を学ぶ。
経営301	経営戦略論	2	(2-0)	3	前又は後	経営戦略の内容を、ドメインの定義、経営資源の展開、競争戦略の決定、ビジネスシステムの決定、の四つに整理したうえで、企業の持続的競争優位に貢献する経営戦略とはどのようなものかという問題について解説する。
経営302	コーポレートファイナンス理論編	2	(2-0)	3	前又は後	株式投資を通じてファイナンス理論を理解することを目的としている講義である。具体的には、ファンダメンタルズ分析、テクニカル分析、DCF方を利用して株式評価を行う。
経営303	サプライチェーン・マネジメント	2	(2-0)	3	前又は後	最初の資材購入から消費者への販売までの全プロセスを最適管理するという従来の物流を超えた新しい理論を解説する。
経営304	広告論	2	(2-0)	3	前又は後	企業のプロモーション活動を「マーケティング」、「関与度」、「芸術表現」といった観点から解説する。受講生の提案練習も行う。
経営305	観光マーケティング論	2	(2-0)	3	前又は後	観光事業におけるマーケティング活動で活用可能な概念、理論、手法を学ぶ。
経営306	税法基礎	2	(2-0)	3	前又は後	税法の基礎的な理解を固めた後に、所得税法と相続税法について講義を行う。講義においては最高裁判決も用いる。
経営307	管理会計基礎論	2	(2-0)	3	前又は後	事業体（主に企業）における原価計算の理論・技法を講義し、原価管理の観点からコストマネジメントおよび組織管理の手法について学ぶ。

プログラム専門科目（昼間主コース）
 経営プログラム専門科目（応用科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
経営211	人的資源管理論	2	(2-0)	2	前又は後	人材マネジメントに関する基本的なフレームワークについて理論的・実践的に学習する。
経営212	観光事業論	2	(2-0)	2	前又は後	観光事業における収益管理の初歩を学ぶ。
経営221	サービスマネジメント論	2	(2-0)	2	前又は後	顧客サービスに留まらず、内部組織に働きかける「インターナルマーケティング」にも注目し、サービスをどのようにマネジメントするか、また、どのように収益を生み出し、ひいては企業業績に結びつけるかについて学ぶ。
経営222	ホテル経営論	2	(2-0)	2	前又は後	国内・外ホテルの経営戦略及び実践手法について講義する。
経営223	サービス産業基礎概論	2	(2-0)	2	前又は後	サービス産業に関わる基礎的な知識と仕組みについて学ぶ。
経営224	交通サービス論	2	(2-0)	2	前又は後	交通サービスに関わる基礎的な知識と仕組みについて学ぶ。
経営225	物流サービス論	2	(2-0)	2	前又は後	幅広い現代物流の仕組みについて解説する。
経営226	Tourism Development	2	(2-0)	2	前又は後	島嶼地域であるハワイの観光産業の現状と課題を通して、持続可能な観光開発のあり方について学ぶ。
経営311	競争戦略論	2	(2-0)	3	前又は後	競争戦略論の代表的な分析視角（ポジショニング論、資源ベース論、能力ベース論など）を取り上げ、その内容と意義を中心に解説する。
経営312	コーポレートファイナンス実践編	2	(2-0)	3	前又は後	理論編で学習した知識を利用して、複数の株式へ投資を行うポートフォリオ理論やオプション等のデリバティブ投資を学習する。
経営313	応用簿記論	4	(4-0)	3	前又は後	簿記入門の講義を履修した学生を対象に、中級レベルの簿記の講義を行う。
経営314	財務会計	2	(2-0)	3	前又は後	会計学の講義を受けた学生を対象に、財務会計の個別応用論点の講義を行う。
経営315	税法応用	2	(2-0)	3	前又は後	法人税法と消費税法について講義を行う。法人税法については企業会計との違いを重点的に説明する。
経営316	簿記論演習	2	(2-0)	3	前又は後	将来会計専門職に就くことを考えている学生を対象に上級簿記の講義を行う。
経営317	財務会計論演習	2	(2-0)	3	前又は後	将来会計専門職に就くことを考えている学生を対象に上級財務会計の講義を行う。
経営318	管理会計応用論	2	(2-0)	3	前又は後	経営管理の観点から管理会計の理論・技法について講義し、意思決定や業績評価さらに予算管理や戦略会計にまで講義を展開する。
経営319	数字で学ぶビジネス	2	(2-0)	3	前又は後	会計数値を通じてビジネスのしくみを学ぶ。
経営400	卒業研究	2	(0-2)	4	後	大学生活の集大成として、テーマや課題に取り組んだ学習・研究の成果を卒業論文或いは課題研究報告書としてまとめる。

プログラム専門科目（昼間主コース）

経営プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
経営351	インターンシップ	2	(2-0)	2～3	前又は後	『働くということとは何か』について、自分なりに考え、その意義、意味をつかむことを目標とする。
経営352	キャリア開発演習	2	(0-2)	2	後	社会で求められる真の力とは何かを自ら探索し、その力を身につけるために何が必要かを認識し、具体的な行動計画を策定し、社会で求められる有能な人材を目指すことを目的とする。
経営361	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	(0-2)	3	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。
経営362	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	(0-2)	3	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。
経営401	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	(0-2)	4	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。
経営402	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	(0-2)	4	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。

プログラム専門科目（昼間主コース）

経営プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
経営201	組織行動論	2	2	前又は後		経営302	コーポレートファイナンス理論編	2	3	前又は後	
経営202	経営組織論	2	2	前又は後		経営303	サプライチェーン・マネジメント	2	3	前又は後	
経営203	観光情報論	2	2	前又は後		経営304	広告論	2	3	前又は後	
経営204	観光マネジメント論	2	2	前又は後		経営305	観光マーケティング論	2	3	前又は後	
経営205	会計学	2	2	前又は後		経営306	税法基礎	2	3	前又は後	
経営301	経営戦略論	2	3	前又は後		経営307	管理会計基礎論	2	3	前又は後	

プログラム専門科目（昼間主コース）

経営プログラム専門科目（応用科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
経営211	人的資源管理論	2	2	前又は後		経営312	コーポレートファイナンス実践編	2	3	前又は後	
経営212	観光事業論	2	2	前又は後		経営313	応用簿記論	4	3	前又は後	
経営221	サービスマネジメント論	2	2	前又は後		経営314	財務会計	2	3	前又は後	
経営222	ホテル経営論	2	2	前又は後		経営315	税法応用	2	3	前又は後	
経営223	サービス産業基礎概論	2	2	前又は後		経営316	簿記論演習	2	3	前又は後	
経営224	交通サービス論	2	2	前又は後		経営317	財務会計論演習	2	3	前又は後	
経営225	物流サービス論	2	2	前又は後		経営318	管理会計応用論	2	3	前又は後	
経営226	Tourism Development	2	2	前又は後		経営319	数字で学ぶビジネス	2	3	前又は後	
経営311	競争戦略論	2	3	前又は後		経営400	卒業研究	2	4	後	必修科目

注1：卒業研究は必修

プログラム専門科目（昼間主コース）

経営プログラム専門科目（地域国際実践力科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
経営351	インターンシップ	2	2~3	前又は後	
経営352	キャリア開発演習	2	2	後	必修科目
経営361	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	3	前又は後	必修科目
経営362	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	3	前又は後	必修科目
経営401	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	4	前又は後	必修科目
経営402	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	4	前又は後	必修科目

注1：キャリア開発演習及び地域国際実践力演習Ⅰ～Ⅳは必修。

注2：地域国際実践力科目は、上記科目以外に他プログラム、他学部提供の科目も含まれる。

卒業要件 経営プログラム（昼間主コース）

授業科目の区分		必修	選択	選択必修	
共通教育	教養領域	健康運動系科目	2	6	
		人文系科目	2		
		社会系科目	2		
		自然系科目	2		
	総合領域	総合			
		琉大特色科目・地域創生科目	4		
		キャリア関係科目			
	基幹領域	情報関係科目			
		第1外国語（英語）	8		
		第2外国語	4		
小計		24	6		
共通教育科目総計		30			
専門教育	学部共通基盤専門科目	専門基盤力科目	10	4	
		地域・国際基盤力科目（プログラム系科目）		6	
		地域・国際基盤力科目（プログラム複合科目）			4
	プログラム専門科目	経営プログラム専門科目	2	30	
		地域・国際実践力科目	10	2	
	地域・国際実践力科目（読替科目）			26	
	小計		22	68	4
	専門教育科目総計		94		
総単位数		124			

- 卒業単位は合計124単位以上とする。
- 共通教育科目は30単位とする。

教養領域	健康運動系科目	2単位以上
	人文系科目	2単位以上
	社会系科目	2単位以上
	自然系科目	2単位以上
総合領域	琉大特色・地域創生及びキャリア関係科目	4単位以上
健康運動系科目を除く教養領域・総合領域及び情報関係科目		6単位以上
基幹領域	第1外国語（英語）	8単位以上
	第2外国語	4単位以上

注1）共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。

- 専門科目は94単位以上とする。
 - 学部共通基盤専門科目は以下のとおり合計24単位以上を履修する。
 - 専門基盤力科目は、基礎演習(2単位・必修)を含む14単位以上を履修する。
 - ・専門基盤力科目のうち、経営プログラム提供の経営学入門(2単位)、マーケティング入門(2単位)、簿記入門(4単位)の3科目及び、2つ以上の他のプログラム提供の科目を、それぞれ1科目以上履修する。
 - 地域・国際基盤力科目は、10単位以上履修する。
 - ・プログラム系科目を6単位以上を履修する。
 - ・プログラム複合科目（選択必修）を4単位以上を履修する。
 - プログラム専門科目は以下のとおり合計70単位以上を履修する。
 - 経営プログラム専門科目は、卒業研究(2単位・必修)を含む32単位以上を履修する。
 - 地域・国際実践力科目は、地域・国際実践力演習Ⅰ～Ⅳ(必修・8単位)を含む12単位以上を履修する。
 - ・キャリア開発演習(2単位・必修)は、2年次の後学期に必ず履修すること。
 - 他プログラム・他学部提供の専門科目は、プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）の単位として読み替えることができる。
 - 学部共通基盤専門科目（24単位）及びプログラム専門科目（32単位）を超過した分は、プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）の単位として読み替えることができる。
 - 一学期に登録できる単位数の上限は20単位(共通教育科目を含め)とする。ただし、集中講義はこの中に含まない。
 - 直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は、指導教員の指導・承認を得て26単位までの登録を認める。
 - GPAの値にかかわらず、博物館学芸員等の資格取得予定者は、指導教員の指導・承認を得て登録単位の上積みをも6単位まで認める。ただし、超過する分は資格取得に必要な該当科目とする。
 - 資格取得希望者に該当する者のGPAが3.0以上の場合でも26単位までとする。

注2）昼間主コースの学生は、夜間に開講される授業科目から履修することができ、そのうち40単位までは卒業単位として認められる。但し、地域・国際実践力演習Ⅰ～Ⅳと卒業研究は40単位制限に含まない。

プログラム専門科目（夜間主コース）
経営プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
B経営103	簿記入門	4	(4-0)	2	前又は後	企業が公表する財務諸表の作成技術である複式簿記の基礎を学ぶ。
B経営201	組織行動論	2	(2-0)	2	前又は後	組織における人間行動に関する基本的なフレームワークについて理論的・実践的に学習する。
B経営202	経営組織論	2	(2-0)	2	前又は後	経営組織のマネジメントと組織を通じたキャリア形成に関する理論・学説を体系的に学び、実践に活用できるように事例分析を行う。
B経営203	観光情報論	2	(2-0)	2	前又は後	デスティネーション（観光地）を効果的にマーケティングする際に必要とされる観光情報システムの構築について考える。
B経営204	観光マネジメント論	2	(2-0)	2	前又は後	観光地、観光客、観光事業に関する系統的なマネジメントの基礎を学ぶ。
B経営205	会計学	2	(2-0)	2	前又は後	現代の企業会計のフレームワークと、貸借対照表・損益計算書の基礎構造を学ぶ。
B経営301	経営戦略論	2	(2-0)	3	前又は後	経営戦略の内容を、ドメインの定義、経営資源の展開、競争戦略の決定、ビジネスシステムの決定、の四つに整理したうえで、企業の持続的競争優位に貢献する経営戦略とはどのようなものかという問題について解説する。
B経営302	コーポレートファイナンス理論編	2	(2-0)	3	前又は後	株式投資を通じてファイナンス理論を理解することを目的としている講義である。具体的には、ファンダメンタルズ分析、テクニカル分析、DCF方を利用して株式評価を行う。
B経営303	サプライチェーン・マネジメント	2	(2-0)	3	前又は後	最初の資材購入から消費者への販売までの全プロセスを最適管理するという従来の物流を超えた新しい理論を解説する。
B経営304	広告論	2	(2-0)	3	前又は後	企業のプロモーション活動を「マーケティング」、「関与度」、「芸術表現」といった観点から解説します。受講生の提案練習も行う。
B経営305	観光マーケティング論	2	(2-0)	3	前又は後	観光事業におけるマーケティング活動で活用可能な概念、理論、手法を学ぶ。
B経営306	税法基礎	2	(2-0)	3	前又は後	税法の基礎的な理解を固めた後に、所得税法と相続税法について講義を行う。講義においては最高裁判決も用いる。
B経営307	管理会計基礎論	2	(2-0)	3	前又は後	事業体(主に企業)における原価計算の理論・技法を講義し、原価管理の観点からコストマネジメントおよび組織管理の手法について学ぶ。

プログラム専門科目（夜間主コース）
経営プログラム専門科目（応用科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
B経営211	人的資源管理論	2	(2-0)	2	前又は後	人材マネジメントに関する基本的なフレームワークについて理論的・実践的に学習する。
B経営212	観光事業論	2	(2-0)	2	前又は後	観光事業における収益管理の初歩を学ぶ。
B経営217	まちづくり地域興し論	2	(2-0)	2	前又は後	様々な切り口から、まちづくり・地域興しの事例を概観しその手法を身に着け、地域資源を生かした提言ができるようにする。
B経営218	マーケティング実践研究	2	(2-0)	2	前又は後	事例を通じて企業のマーケティング活動の内容を理解し、提示された課題に対して討議を行う。
B経営221	サービスマネジメント論	2	(2-0)	2	前又は後	顧客サービスに留まらず、内部組織に働きかける「インターナルマーケティング」にも注目し、サービスをどのようにマネジメントするか、また、どのように収益を生み出し、ひいては企業業績に結びつけるかについて学ぶ。
B経営225	物流サービス論	2	(2-0)	2	前又は後	幅広い現代物流の仕組みについて解説する。
B経営311	競争戦略論	2	(2-0)	3	前又は後	競争戦略論の代表的な分析視角（ポジショニング論、資源ベース論、能力ベース論など）を取り上げ、その内容と意義を中心に解説する。
B経営312	コーポレートファイナンス実践編	2	(2-0)	3	前又は後	理論編で学習した知識を利用して、複数の株式へ投資を行うポートフォリオ理論やオプション等のデリバティブ投資を学習する予定です。
B経営314	財務会計	2	(2-0)	3	前又は後	会計学の講義を受けた学生を対象に、財務会計の個別応用論点の講義を行う。
B経営318	管理会計応用論	2	(2-0)	3	前又は後	経営管理の観点から管理会計の理論・技法について講義し、意思決定や業績評価さらに予算管理や戦略会計にまで講義を展開する。
B経営351	インターンシップ	2	(2-0)	2～3	前又は後	『働くということは何か』について、自分なりに考え、その意義、意味をつかむことを目標とする。
B経営352	キャリア開発演習	2	(0-2)	2	後	社会で求められる真の力とは何かを自ら探索し、その力を身につけるために何が必要かを認識し、具体的な行動計画を策定し、社会で求められる有能な人材を目指すことを目的とする。
B経営400	卒業研究	2	(0-2)	4	後	大学生活の集大成として、テーマや課題に取り組んだ学習・研究の成果を卒業論文或いは課題研究報告書としてまとめる。

プログラム専門科目（夜間主コース）
経営プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
B経営361	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	(0-2)	3	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。
B経営362	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	(0-2)	3	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。
B経営401	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	(0-2)	4	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。
B経営402	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	(0-2)	4	前又は後	個別あるいはチームとしての研究課題を設定し、その課題を紐解くために必要な資料や書籍のサーベイ、討議、発表、等を行う。

プログラム専門科目（夜間主コース）

経営プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
B経営103	簿記入門	4	2	前又は後	必修科目	B経営302	コーポレートファイナンス理論編	2	3	前又は後	
B経営201	組織行動論	2	2	前又は後		B経営303	サプライチェーン・マネジメント	2	3	前又は後	
B経営202	経営組織論	2	2	前又は後		B経営304	広告論	2	3	前又は後	
B経営203	観光情報論	2	2	前又は後		B経営305	観光マーケティング論	2	3	前又は後	
B経営204	観光マネジメント論	2	2	前又は後		B経営306	税法基礎	2	3	前又は後	
B経営205	会計学	2	2	前又は後		B経営307	管理会計基礎論	2	3	前又は後	
B経営301	経営戦略論	2	3	前又は後							

注1：簿記入門は必修

プログラム専門科目（夜間主コース）

経営プログラム専門科目（応用科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
B経営211	人的資源管理論	2	2	前又は後		B経営312	コーポレートファイナンス実践編	2	3	前又は後	
B経営212	観光事業論	2	2	前又は後		B経営314	財務会計	2	3	前又は後	
B経営217	まちづくり地域興し論	2	2	前又は後		B経営318	管理会計応用論	2	3	前又は後	
B経営218	マーケティング実践研究	2	2	前又は後		B経営351	インターンシップ	2	2~3	前又は後	
B経営221	サービスマネジメント論	2	2	前又は後		B経営352	キャリア開発演習	2	2	後	必修科目
B経営225	物流サービス論	2	2	前又は後		B経営400	卒業研究	2	4	後	必修科目
B経営311	競争戦略論	2	3	前又は後							

注1：キャリア開発演習は必修

注2：卒業研究は必修

プログラム専門科目（夜間主コース）

経営プログラム専門科目（地域国際実践力科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
B経営361	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	3	前又は後	必修科目
B経営362	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	3	前又は後	必修科目
B経営401	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	4	前又は後	必修科目
B経営402	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	4	前又は後	必修科目

注1：地域・国際実践力演習Ⅰ～Ⅳは必修

注2：地域国際実践力科目は、上記科目以外に他プログラム、他学部提供の科目も含まれる

卒業要件 経営プログラム（夜間主コース）

授業科目の区分		必修	選択	
共通教育	教養領域	健康運動系科目	2	14
		人文系科目	4	
		社会系科目	4	
		自然系科目	4	
	総合領域	総合		
		琉大特色科目・地域創生科目		
		キャリア関係科目		
	基幹領域	情報関係科目		
		第1外国語	8	
		第2外国語	4	
小計		26	14	
共通教育科目総計		40		
専門教育	学部共通基盤専門科目	専門基盤力科目	6	2
	プログラム専門科目	経営プログラム専門科目（基礎科目）	4	30
		経営プログラム専門科目（応用科目）	4	
		地域・国際実践力科目	8	
	地域・国際実践力科目（読替科目）			30
	小計		22	62
	専門教育科目総計		84	
総単位数		124		

1. 卒業単位は合計124単位以上とする。

2. 共通教育科目は40単位とする。

教養領域	健康運動系科目	2単位以上
	人文系科目	4単位以上
	社会系科目	4単位以上
	自然系科目	4単位以上
	健康運動系科目を除く教養領域・総合領域及び情報関係科目	14単位以上
基幹領域	第1外国語	8単位以上
	第2外国語	4単位以上

注1) 共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。

3. 専門科目は84単位以上とする。

(1) 学部共通基盤専門科目は、基礎演習(2単位・必修)を含む8単位以上を履修する。

専門基盤力科目のうち、経営プログラム提供の経営学入門(2単位)、マーケティング入門(2単位)は必ず履修すること。

(2) プログラム専門科目は以下のとおり合計76単位以上を履修する。

○経営プログラム専門科目は、卒業研究(応用科目・2単位・必修)を含む38単位以上を履修する。

○経営プログラム専門科目の簿記入門(基礎科目・4単位)と、キャリア開発演習(応用科目・2単位)は、必ず履修すること。

○地域・国際実践力科目は、地域・国際実践力演習I～IV(必修・8単位)を必ず履修する。

○他プログラム・他学部提供の専門科目は、プログラム専門科目(地域・国際実践力科目)の単位として読み替えることができる。

○学部共通基盤専門科目(8単位)及びプログラム専門科目(38単位)を超過した分は、プログラム専門科目(地域・国際実践力科目)の単位として読み替えることができる。

(3) 一学期に登録できる単位数の上限は20単位(共通教育科目を含め)とする。ただし、集中講義はこの中に含まない。

(4) 直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は、指導教員の指導・承認を得て26単位までの登録を認める。

(5) GPAの値にかかわらず、博物館学芸員等の資格取得予定者は、指導教員の指導・承認を得て登録単位の上積み6単位まで認める。ただし、超過する分は資格取得に必要な該当科目とする。

(6) 資格取得希望者に該当する者のGPAが3.0以上の場合でも26単位までとする。

注2) 夜間主コースの学生は、昼間に開講される授業科目から履修することができ、そのうち40単位までは卒業単位として認められる。但し、地域・国際実践力演習I～IVと卒業研究は40単位制限に含まない。

プログラム専門科目（昼間主コース）

経済学プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
経済101	経済数学（基礎）	2	(2-0)	2	前①	経済学の修得に最低限必要な数学を学習する（基礎）。
経済102	経済数学（応用）	2	(2-0)	2	前②	経済学の修得に最低限必要な数学を学習する（応用）。
経済103	ミクロ経済学（基礎）	2	(2-0)	2	後①	基礎では、各経済主体（消費者・企業）の行動を中心に、ミクロ経済学の初中級の内容を講義する。
経済104	ミクロ経済学（応用）	2	(2-0)	2	後②	応用では、基礎で学んだ内容（経済主体の行動）にもとづいて市場機構のはたらきを中心に、ミクロ経済学の初中級の内容を講義する。
経済105	マクロ経済学（基礎）	2	(2-0)	2	後①	マクロ経済学（応用）とともに、マクロ経済学の初中級の内容を講義する。
経済106	マクロ経済学（応用）	2	(2-0)	2	後②	マクロ経済学（基礎）とともに、マクロ経済学の初中級の内容を講義する。
経済107	基礎統計学	2	(2-0)	2	前	経済データの分析を行うために必要な基礎的な統計学の理論について講義する。
経済301	日本経済史	2	(2-0)	2後～3	前又は後	近世から近代における経済政策、諸産業の発展過程とその際に生じた公害問題、環境問題などについて講義する。
経済302	西洋経済史	2	(2-0)	2後～3	前又は後	コロンブスによる「新大陸」の発見に始まる西洋を中心としたグローバリゼーションと、アジアへの工業化の波及について講義する。
経済303	経済政策論	2	(2-0)	2後～3	前又は後	経済政策に関わる諸原理と経済理論の政策的応用。日本経済や世界経済を取り巻く構造と変化、政策対応。市場機構と資源配分、経済成長と経済安定化、グローバル化の経済への影響、エネルギー、環境、社会保障など。
経済304	財政学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	公共サービスの提供、予算、税制、財政赤字、社会保障、財政政策など、様々な財政学のテーマを取り上げ、その現状と課題を理解しながら、財政の見方を養う。
経済305	金融論	2	(2-0)	2後～3	前又は後	金融経済に関わる経済理論を体系的に講義する。
経済306	計量経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	基礎的な計量経済学を概説する。
経済307	国際経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	国際貿易、国際直接投資の理論・政策について講義する。
経済308	ゲーム理論	2	(2-0)	2後～3	前又は後	ゲーム理論に関する初中級の内容を講義する。
経済309	環境経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	環境問題や環境政策を経済学の視点から読み解くための基礎知識を学ぶ。
経済310	労働経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	労働供給、労働需要の理論的な理解を土台として、賃金や雇用、失業のメカニズムを学習する。
経済311	公共経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	公共部門の存在根拠のほか、公共部門による活動やその効果について、主にミクロ経済学の視点から解説する。
経済312	開発経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	発展途上国の貧困問題を経済学的に考察し、経済開発や開発援助のあり方などについて学習する。
経済313	社会政策論	2	(2-0)	2後～3	前又は後	社会の問題を検討し、解決する主体や方法を考える。社会保障、労働問題、地域再生、文化政策などの分野や「子どもの貧困」などの今日的課題も取り扱う。
経済314	法と経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	経済モデルを使い、経済学がどのように法制度を説明するのかを不法行為・所有権法等の分野を通して講義する。
経済315	情報処理実習	2	(0-2)	2後～3	前又は後	経済の統計を使い、情報処理の方法について学習する。

プログラム専門科目（昼間主コース）
 経済学プログラム専門科目（応用科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
経済401	産業組織論	2	(2-0)	3～4	前又は後	企業や企業の集合としての産業全体の経済行動を対象にしたミクロ経済学の応用について講義する。
経済402	地域政策論	2	(2-0)	3～4	前又は後	地域の公共政策的課題や経済・産業振興に関する諸課題について取り扱う。地域における政策主体や政策目的、地方自治体レベルでの、産業政策、医療・福祉、交通、都市政策等の政策形成プロセス。
経済403	都市経済学	2	(2-0)	3～4	前又は後	東京一極集中の問題をはじめ、交通混雑、土地利用、住宅や企業の立地、環境、財政など都市が抱える様々な問題を学習する。
経済404	ファイナンス理論	2	(2-0)	3～4	前又は後	金融資産の概略、価格付け等に関する理論を講義する。
経済405	応用統計学	2	(2-0)	3～4	前又は後	時系列モデルや一般化線形モデルなど、主に経済データの分析に利用されるより発展的な統計分析の手法について講義する。
経済406	応用計量経済学	2	(2-0)	3～4	前又は後	計量経済学の応用編。ミクロ計量分析やマクロ計量分析について講義する。
経済407	社会経済史	2	(2-0)	3～4	前又は後	近代都市の形成過程とその際に生じた諸問題について講義する。
経済408	国際マクロ経済学	2	(2-0)	3～4	前又は後	国際金融の基礎知識、国際マクロ経済の理論・政策について講義する。
経済409	島嶼経済論	2	(2-0)	3～4	前又は後	島嶼地域の特性を踏まえた経済のあり方と持続的発展の可能性について考察する。
経済410	教育経済学	2	(2-0)	3～4	前又は後	経済学的な思考を土台に教育行動を合理的に説明し、その上で教育や教育システムのあるべき姿を考察する。
経済411	地方財政論	2	(2-0)	3～4	前又は後	地方分権をめぐる様々な論点を経済学の視点から考察し、我が国の地方財政制度の現状や課題について解説する。
経済412	アジア経済論	2	(2-0)	3～4	前又は後	アジア経済の発展パターンとその要因を経済学的に考察し、他の発展途上国・地域と比較しながら発展のために必要な政策などについて学習する。
経済413	応用金融論	2	(2-0)	3～4	前又は後	金融政策、金融機関の業務、金融制度、および金融商品の運用について学習する。
経済414	協同組合・協同労働論	2	(2-0)	2～3	前又は後	地域再生を実践する主な主体として市民活動と労働者協同組合を想定して、実践的な地域再生と仕事おこしの方法を学習することを目的とする。
経済499	卒業研究	2	(0-2)	4	後	卒業論文の作成を行う。

プログラム専門科目（昼間主コース）
 経済学プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
経済501	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	(0-2)	3	前	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。
経済502	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	(0-2)	3	後	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。
経済503	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	(0-2)	4	前	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。
経済504	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	(0-2)	4	後	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。
経済551	実践経済学	2	(2-0)	2～3	前又は後	民間企業や金融機関等の実務に関連する諸問題について、外部講師による講義を中心に学習する。

経済学プログラム専門科目（昼間主）

経済学プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
経済101	経済数学（基礎）	2	2	前①	必修	経済305	金融論	2	2後～3	前又は後	
経済102	経済数学（応用）	2	2	前②	必修	経済306	計量経済学	2	2後～3	前又は後	
経済103	ミクロ経済学（基礎）	2	2	後①	必修	経済307	国際経済学	2	2後～3	前又は後	
経済104	ミクロ経済学（応用）	2	2	後②	必修	経済308	ゲーム理論	2	2後～3	前又は後	
経済105	マクロ経済学（基礎）	2	2	後①	必修	経済309	環境経済学	2	2後～3	前又は後	
経済106	マクロ経済学（応用）	2	2	後②	必修	経済310	労働経済学	2	2後～3	前又は後	
経済107	基礎統計学	2	2	前	必修	経済311	公共経済学	2	2後～3	前又は後	
経済301	日本経済史	2	2後～3	前又は後		経済312	開発経済学	2	2後～3	前又は後	
経済302	西洋経済史	2	2後～3	前又は後		経済313	社会政策論	2	2後～3	前又は後	
経済303	経済政策論	2	2後～3	前又は後		経済314	法と経済学	2	2後～3	前又は後	
経済304	財政学	2	2後～3	前又は後		経済315	情報処理実習	2	2後～3	前又は後	

注1：経済数学（基礎）、経済数学（応用）、基礎統計学、ミクロ経済学（基礎）、ミクロ経済学（応用）、マクロ経済学（基礎）、マクロ経済学（応用）の7科目は必修。

経済学プログラム専門科目（応用科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
経済401	産業組織論	2	3～4	前又は後		経済408	国際マクロ経済学	2	3～4	前又は後	
経済402	地域政策論	2	3～4	前又は後		経済409	島嶼経済論	2	3～4	前又は後	
経済403	都市経済学	2	3～4	前又は後		経済410	教育経済学	2	3～4	前又は後	
経済404	ファイナンス理論	2	3～4	前又は後		経済411	地方財政論	2	3～4	前又は後	
経済405	応用統計学	2	3～4	前又は後		経済412	アジア経済論	2	3～4	前又は後	
経済406	応用計量経済学	2	3～4	前又は後		経済413	応用金融論	2	3～4	前又は後	
経済407	社会経済史	2	3～4	前又は後		経済414	協同組合・協同労働論	2	2～3	前又は後	
						経済499	卒業研究	2	4	後	必修

注1：卒業研究は必修。

経済学プログラム専門科目（地域・国際実践力）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
経済501	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	3	前	必修	経済551	実践経済学	2	2～3	前又は後	
経済502	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	3	後	必修						
経済503	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	4	前	必修						
経済504	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	4	後	必修						

注1：地域・国際実践力演習Ⅰ～Ⅳは必修。

注2：地域・国際実践力科目は、上記科目以外に他プログラム・他学部提供の専門科目・教職科目も含まれる。

卒業要件 経済学プログラム（昼間主コース）

授業科目の区分		必修	選択	選択必修	
共通教育	教養領域	健康運動系科目	2	6	
		人文系科目	2		
		社会系科目	2		
		自然系科目	2		
	総合領域	総合			
		琉大特色・地域創生科目	4		
		キャリア関係科目			
	基幹領域	情報関係科目			
		第1外国語	8		
		第2外国語	4		
小計		24	6		
共通教育科目総計		30			
専門教育	学部共通基盤専門科目	専門基盤力科目	2	12	
		地域・国際基盤力科目（プログラム系科目）		6	
		地域・国際基盤力科目（プログラム複合科目）			4
	プログラム専門科目	経済学プログラム専門科目（基礎科目）	14	16 (基礎科目8単位を含む)	
		経済学プログラム専門科目（応用科目）	2		
		地域・国際実践力科目	8		4
	地域・国際実践力科目(読替科目)			26	
	小計		26	64	4
専門教育科目総計		94			
総単位数		124			

- 卒業単位は合計124単位以上とする。
- 共通教育科目は30単位とする。

教養領域	健康運動系科目	2単位以上
	人文系科目	2単位以上
	社会系科目	2単位以上
	自然系科目	2単位以上
総合領域	琉大特色・地域創生及びキャリア関係科目	4単位以上
健康運動系科目を除く教養領域・総合領域及び情報関係科目		6単位以上
基幹領域	第1外国語	8単位以上
	第2外国語	4単位以上

注1) 共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。

- 専門科目は94単位以上とする。
 - 学部共通基盤専門科目は以下のとおり合計24単位以上を履修する。
 - 専門基盤力科目は、基礎演習(2単位・必修)を含む14単位以上を履修する。
 - 基礎演習を除く専門基盤力科目12単位のうち、経済学プログラム提供の社会科学のためのゲーム論入門、経済学概論、社会科学のための統計入門、日本経済入門の中から3科目(6単位)以上および、他の2つ以上のプログラム提供の科目をそれぞれ1科目(4単位)以上が含まれること。
 - 地域・国際基盤力科目は、10単位以上履修する。
 - プログラム系科目を6単位以上履修する。
 - プログラム複合科目(選択必修)4単位以上を履修する。
 - 経済学プログラム専門科目は以下のとおり合計70単位以上を履修する。
 - 基礎科目のうち、基礎統計学、経済数学(基礎)、経済数学(応用)、マイクロ経済学(基礎)、マイクロ経済学(応用)、マクロ経済学(基礎)、マクロ経済学(応用)の7科目(14単位)を含む22単位以上を履修する。
 - 応用科目は卒業研究(2単位)を必修とする。
 - 基礎科目と応用科目を合わせて32単位以上を履修する。
 - 地域・国際実践力科目は、地域・国際実践力演習I~IV(必修・8単位)を含む12単位以上を履修する。
 - 他プログラム・他学部提供の専門科目・教職科目は、プログラム専門科目(地域・国際実践力科目)の単位として読み替えることができる。
 - 学部共通基盤専門科目(24単位)及びプログラム専門科目(32単位)を超過した分は、プログラム専門科目(地域・国際実践力科目)の単位として読み替えることができる。
- 一学期に登録できる単位数の上限は20単位(共通教育科目を含め)とする。ただし集中講義はこれに含めない。
- 直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は、指導教員の指導・承認を得て26単位までの登録を認める。
- GPAの値にかかわらず、教員免許・博物館学芸員等の資格取得予定者は、指導教員の指導・承認を得て登録単位の上限を6単位まで認める。ただし、超過する分は資格取得に必要な該当科目とする。
- 資格取得希望者に該当する者のGPAが3.0以上の場合でも26単位までとする。

注2) 昼間主コースの学生は、夜間に開講される授業科目から履修することができ、そのうち40単位までは卒業単位として認められる。

プログラム専門科目（夜間主コース）
 経済学プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
B経済101	経済数学（基礎）	2	(2-0)	2	前①	経済学の修得に最低限必要な数学を学習する（基礎）。
B経済102	経済数学（応用）	2	(2-0)	2	前②	経済学の修得に最低限必要な数学を学習する（応用）。
B経済103	ミクロ経済学（基礎）	2	(2-0)	2	後①	市場を構成する消費者や企業の行動について説明したうえで、市場の基本的な機能について講義する。
B経済104	ミクロ経済学（応用）	2	(2-0)	2	後②	市場の限界について講義するほか、各経済主体が戦略的状況にある、あるいは保有する情報に格差があるといった従来のミクロ経済学では扱いきれなかった分野を講義する。
B経済105	マクロ経済学（基礎）	2	(2-0)	2	後①	経済全体の生産、雇用、消費、投資の決定メカニズムと、景気循環や経済成長の要因などについて講義する。
B経済106	マクロ経済学（応用）	2	(2-0)	2	後②	マクロ経済体系について学習し、財政政策や金融政策による政府の介入効果について講義する。
B経済107	基礎統計学	2	(2-0)	2	前	経済データの分析を行うために必要な基礎的な統計学の理論について講義する。
B経済205	地域経済入門	2	(2-0)	1～2前	前又は後	人口減少や都市化（過疎・過密）が進む中で、地域経済・社会や地方財政が抱える様々な問題を取り上げ、経済学の視点から考察する。
B経済206	国際経済入門	2	(2-0)	1～2前	前又は後	国際貿易、国際直接投資、国際金融の基礎知識について講義する。
B経済207	経済史入門	2	(2-0)	1～2前	前又は後	近代から現代における経済成長の過程及び諸産業の発展過程を講義する。
B経済208	社会政策入門	2	(2-0)	1～2前	前又は後	社会の問題を検討し、解決する主体や方法を、地域再生、文化政策、貧困問題など今日的テーマで考えていく。
B経済254	沖縄経済入門	2	(2-0)	1～2	前又は後	沖縄の産業構造、雇用、財政、沖縄振興策等について講義する。
B経済301	日本経済史	2	(2-0)	2後～3	前又は後	近世から近代における経済政策、諸産業の発展過程とその際に生じた公害問題、環境問題などについて講義する。
B経済302	西洋経済史	2	(2-0)	2後～3	前又は後	コロンブスによる「新大陸」の発見に始まる西洋を中心としたグローバリゼーションと、アジアへの工業化の波及について講義する。
B経済303	経済政策論	2	(2-0)	2後～3	前又は後	経済政策に関わる諸原理と経済理論の政策的応用。日本経済や世界経済を取り巻く構造と変化、政策対応。市場機構と資源配分、経済成長と経済安定化、グローバル化の経済への影響、エネルギー、環境、社会保障など。
B経済304	財政学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	公共サービスの提供、予算、税制、財政赤字、社会保障、財政政策など、様々な財政学のテーマを取り上げ、その現状と課題を理解しながら、財政の見方を養う。
B経済305	金融論	2	(2-0)	2後～3	前又は後	金融経済に関わる経済理論を体系的に講義する。
B経済306	計量経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	基礎的な計量経済学を概説する。
B経済307	国際経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	国際貿易、国際直接投資の理論・政策について講義する。
B経済308	ゲーム理論	2	(2-0)	2後～3	前又は後	ゲーム理論に関する初中級の内容を講義する。
B経済309	環境経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	環境問題や環境政策を経済学の視点から読み解くための基礎知識を学ぶ。
B経済310	労働経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	労働供給、労働需要の理論的な理解を土台として、賃金や雇用、失業のメカニズムを学習する。
B経済311	公共経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	公共部門の存在根拠、公共部門による活動やその効果について、主にミクロ経済学の視点から解説する。

B経済312	開発経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	発展途上国の貧困問題を経済学的に考察し、経済開発や開発援助のあり方などについて学習する。
B経済313	社会政策論	2	(2-0)	2後～3	前又は後	社会の問題を検討し、解決する主体や方法を考える。社会保障、労働問題、地域再生、文化政策などの分野や「子どもの貧困」などの今日的課題も取り扱う。
B経済314	法と経済学	2	(2-0)	2後～3	前又は後	経済モデルを使い、経済学がどのように法制度を説明するのかを不法行為・所有権法等の分野を通して講義する。
B経済315	情報処理実習	2	(0-2)	2後～3	前又は後	経済の統計を使い、情報処理の方法について学習する。

プログラム専門科目 (夜間主コース)

経済学プログラム専門科目 (応用科目)

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
B経済402	地域政策論	2	(2-0)	3～4	前又は後	地域の公共政策的課題や経済・産業振興に関する諸課題について取り扱う。地域における政策主体や政策目的、地方自治体レベルでの、産業政策、医療・福祉、交通、都市政策等の政策形成プロセス。
B経済403	都市経済学	2	(2-0)	3～4	前又は後	東京一極集中の問題をはじめ、交通混雑、土地利用、住宅や企業の立地、環境、財政など都市が抱える様々な問題を学習する。
B経済404	ファイナンス理論	2	(2-0)	3～4	前又は後	金融資産の概略、価格付け等に関する理論を講義する。
B経済405	応用統計学	2	(2-0)	3～4	前又は後	時系列モデルや一般化線形モデルなど、主に経済データの分析に利用されるより発展的な統計分析の手法について講義する。
B経済406	応用計量経済学	2	(2-0)	3～4	前又は後	計量経済学の応用編。ミクロ計量分析やマクロ計量分析について講義する。
B経済407	社会経済史	2	(2-0)	3～4	前又は後	近代都市の形成過程とその際に生じた諸問題について講義する。
B経済408	国際マクロ経済学	2	(2-0)	3～4	前又は後	国際金融の基礎知識、国際マクロ経済の理論・政策について講義する。
B経済409	島嶼経済論	2	(2-0)	3～4	前又は後	島嶼地域の特性を踏まえた経済のあり方と持続的発展の可能性について考察する。
B経済411	地方財政論	2	(2-0)	3～4	前又は後	地方分権をめぐる様々な論点を経済学の視点から考察し、我が国の地方財政制度の現状や課題について解説する。
B経済412	アジア経済論	2	(2-0)	3～4	前又は後	アジア経済の発展パターンとその要因を経済学的に考察し、他の発展途上国・地域と比較しながら発展のために必要な政策などについて学習する。
B経済413	応用金融論	2	(2-0)	3～4	前又は後	金融政策、金融機関の業務、金融制度、および金融商品の運用について学習する。
B経済414	協同組合・協同労働論	2	(2-0)	2～3	前又は後	地域再生を实践する主な主体として市民活動と労働者協同組合を想定して、実践的な地域再生と仕事おこしの方法を学習することを目的とする。
B経済499	卒業研究	2	(0-2)	4	後	卒業論文の作成を行う。

プログラム専門科目 (夜間主コース)

経済学プログラム専門科目 (地域・国際実践力科目)

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
B経済501	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	(0-2)	3	前	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。
B経済502	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	(0-2)	3	後	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。
B経済503	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	(0-2)	4	前	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。
B経済504	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	(0-2)	4	後	分野毎の個別研究・討議・発表・論文の作成を行う。

経済学プログラム専門科目（夜間主）

経済学プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
B経済101	経済数学（基礎）	2	2	前①	必修	B経済301	日本経済史	2	2後～3	前又は後	
B経済102	経済数学（応用）	2	2	前②	必修	B経済302	西洋経済史	2	2後～3	前又は後	
B経済103	ミクロ経済学（基礎）	2	2	後①	必修	B経済303	経済政策論	2	2後～3	前又は後	
B経済104	ミクロ経済学（応用）	2	2	後②	必修	B経済304	財政学	2	2後～3	前又は後	
B経済105	マクロ経済学（基礎）	2	2	後①	必修	B経済305	金融論	2	2後～3	前又は後	
B経済106	マクロ経済学（応用）	2	2	後②	必修	B経済306	計量経済学	2	2後～3	前又は後	
B経済107	基礎統計学	2	2	前	必修	B経済307	国際経済学	2	2後～3	前又は後	
B経済205	地域経済入門	2	1～2前	前又は後		B経済308	ゲーム理論	2	2後～3	前又は後	
B経済206	国際経済入門	2	1～2前	前又は後		B経済309	環境経済学	2	2後～3	前又は後	
B経済207	経済史入門	2	1～2前	前又は後		B経済310	労働経済学	2	2後～3	前又は後	
B経済208	社会政策入門	2	1～2前	前又は後		B経済311	公共経済学	2	2後～3	前又は後	
B経済254	沖縄経済入門	2	1～2	前又は後		B経済312	開発経済学	2	2後～3	前又は後	
						B経済313	社会政策論	2	2後～3	前又は後	
						B経済314	法と経済学	2	2後～3	前又は後	
						B経済315	情報処理実習	2	2後～3	前又は後	

注1：経済数学（基礎）、経済数学（応用）、基礎統計学、ミクロ経済学（基礎）、ミクロ経済学（応用）、マクロ経済学（基礎）、マクロ経済（応用）の7科目は必修。

B経済学プログラム専門科目（応用科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
B経済402	地域政策論	2	3～4	前又は後		B経済409	島嶼経済論	2	3～4	前又は後	
B経済403	都市経済学	2	3～4	前又は後		B経済411	地方財政論	2	3～4	前又は後	
B経済404	ファイナンス理論	2	3～4	前又は後		B経済412	アジア経済論	2	3～4	前又は後	
B経済405	応用統計学	2	3～4	前又は後		B経済413	応用金融論	2	3～4	前又は後	
B経済406	応用計量経済学	2	3～4	前又は後		B経済414	協同組合・協同労働論	2	2～3	前又は後	
B経済407	社会経済史	2	3～4	前又は後		B経済499	卒業研究	2	4	後	
B経済408	国際マクロ経済学	2	3～4	前又は後							

注1：卒業研究は必修。

B経済学プログラム専門科目（地域・国際実践力）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
B経済501	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	3	前							
B経済502	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	3	後							
B経済503	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	4	前							
B経済504	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	4	後							

注1：地域・国際実践力演習Ⅰ～Ⅳは必修。

注2：地域・国際実践力科目は、上記科目以外に他プログラム・他学部提供の教職に関する科目、フィールドワーク科目やインターシップ科目も含まれる。

卒業要件 経済学プログラム（夜間主コース）

授業科目の区分		必修	選択		
共通教育	教養領域	健康運動系科目	2	14	
		人文系科目	4		
		社会系科目	4		
		自然系科目	4		
	総合領域	総合			
		琉大特色・地域創生科目			
		キャリア関係科目			
	基幹領域	情報関係科目			
		第1外国語			8
		第2外国語			4
小計		26	14		
共通教育科目総計		40			
専門教育	学部共通基盤専門科目	専門基盤力科目	2	6	
	プログラム専門科目	経済学プログラム専門科目（基礎科目）	14	22 (基礎科目8単位を含む)	
		経済学プログラム専門科目（応用科目）	2		
		地域・国際実践力科目	8		
	地域・国際実践力科目(読替科目)			30	
	小計		26	58	
専門教育科目総計		84			
総単位数		124			

- 卒業単位は合計124単位以上とする。
- 共通教育科目は40単位とする。

教養領域	健康運動系科目	2単位以上
	人文系科目	4単位以上
	社会系科目	4単位以上
	自然系科目	4単位以上
健康運動系科目を除く教養領域・総合領域及び情報関係科目		14単位以上
基幹領域	第1外国語	8単位以上
	第2外国語	4単位以上

注1) 共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。

- 専門科目は84単位以上とする。
 - 学部共通基盤専門科目は以下のとおり合計8単位以上を履修する。
 - 専門基盤力科目は、基礎演習(2単位)を必修とする。
 - 経済学プログラム希望の場合、学部共通基盤専門科目の中から経済学系科目2科目を履修する。
 - 経済学プログラム専門科目は以下のとおり合計76単位以上を履修する。
 - 基礎科目のうち、基礎統計学、経済数学(基礎)、経済数学(応用)、ミクロ経済学(基礎)、ミクロ経済学(応用)、マクロ経済学(基礎)、マクロ経済学(応用)の7科目(14単位)を含む22単位以上を履修する。
 - 応用科目は卒業研究(2単位)を必修とする。
 - 基礎科目と応用科目を合わせて(卒業研究を含む)38単位以上を履修する。
 - 地域・国際実践力科目は、地域・国際実践力演習I～IV(8単位)を必修とする。
 - 他プログラム・他学部提供の専門科目・教職科目は、プログラム専門科目(地域・国際実践力科目)の単位として読み替えることができる。
 - 学部共通基盤専門科目(8単位)及びプログラム専門科目(38単位)を超過した分は、プログラム専門科目(地域・国際実践力科目)の単位として読み替えることができる。
- 一学期に登録できる単位数の上限は20単位(共通教育科目を含め)とする。ただし集中講義はこの中に含めない。
- 直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は、指導教員の指導・承認を得て26単位までの登録を認める。
- GPAの値にかかわらず、教員免許・博物館学芸員等の資格取得予定者は、指導教員の指導・承認を得て登録単位の上積みも6単位まで認める。ただし、超過する分は資格取得に必要な該当科目とする。
- 資格取得希望者に該当する者のGPAが3.0以上の場合でも26単位までとする。

注2) 夜間主コースの学生は、昼間に開講される授業科目から履修することができ、そのうち40単位(教員免許関係の科目を除く)までは卒業単位として認められる。

プログラム専門科目（昼間主コース）

国際言語文化プログラム専門科目（基礎科目）

英語文化

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
英言111	リーディング	2	0-2	2	前	様々な分野の比較的長い英語の論考、エッセイを速読して大意を理解する訓練をする。
英言121	英文法演習	2	1-1	2	前	英文法と英作文を相互補完的に学習する。
英言181	英語研究 I	2	2-0	2	前	英語学／言語学の基礎を中心に学ぶ。
英言221	ライティング	2	0-2	2	前又は後	グローバル及びローカルな問題を扱ったエッセイの書き方を訓練する。
英言231	オーラルコミュニケーション	2	0-2	2	前又は後	日常的な場面において、英語によるコミュニケーション活動が適切に行えるよう訓練する。
英言241	イギリス文学概論	2	2-0	2	後	イギリスの代表的作家の主要作品の鑑賞を通してイギリス文学を歴史的に概観する。
英言242	アメリカ文学概論	2	2-0	2	後	アメリカの代表的作家の主要作品の鑑賞を通してアメリカ文学を歴史的に概観する。
英言281	英語研究 II	2	2-0	2	後	英語を中心とした言語習得に関わる様々な理論を概観しながら、母語習得や第二言語習得（外国語教育）についての基礎的知識を学ぶ。
英言282	英語研究 III	2	2-0	2	後	英語を中心とした（異文化）コミュニケーション学／社会言語学の基礎を中心に学ぶ。

プログラム専門科目（昼間主コース）

国際言語文化プログラム専門科目（応用科目）

英語文化

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
国言101	学外実地研修	2	0-2	2~4	前又は後	合宿研修等を通して、外国語のコミュニケーション能力を身につける。
国言102	異文化実地研修 A	2	0-2	1~4	前又は後	英語圏諸国の大学等において行われるサマースクールや短期セミナー等に参加し、その国の言語・歴史・文化等に関する科目を履修するとともに、異文化理解を深める。
国言103	異文化実地研修 B	2	0-2	1~4	前又は後	海外協定校での集中講義やセミナーへの参加、エクスカーションや各国の学生との交流を通して、コミュニケーション能力の向上と異文化理解の深化を図る。
英言115	英語資格試験演習	2	0-2	3	後	客観的な英語能力の指標となるTOEFLおよびTOEICの試験内容について、学習方略を含めた問題演習を行う。
英言311	アカデミック・プレゼンテーション	2	0-2	3~4	前又は後	様々な学問分野において、英語による効果的なプレゼンテーションの方法を学ぶ。
英言321	英語スピーチ	2	0-2	3~4	前又は後	パブリック・スピーキングの理論を学び、英語のスピーチを実践することによって、論理的に話す能力と建設的な批判能力を養う。
英言322	英語ディベート	2	0-2	3~4	前又は後	賛否両論ある特定の社会問題について英語で討論し、意志決定能力や論理的思考能力を増進する。
英言333	英米言語文化特殊講義 I	2	2-0	3~4	前又は後	英文法を普遍文法の観点から考察し人間言語の仕組みについて理解を深める。
英言334	英米言語文化特殊講義 II	2	2-0	3~4	前又は後	英語の母語習得理論及び外国語習得理論の理解を基に、日本人学習者が英語を学習するときに抱える困難と、その解決方法について学ぶ。
英言335	英米言語文化特殊講義 III	2	2-0	3~4	前又は後	英米の言語、文化、歴史を主とした文化総体の様々な側面に関する主題に関するプレゼンテーションとディスカッションを実施し、仕上げとして取り上げられた主題についての term paper を作成する。
英言336	英米言語文化特殊講義 IV	2	2-0	3~4	前又は後	19世紀前半までのアメリカ合衆国草創期の文学作品を読むことをとおして、その後形成されていくアメリカ的価値観の展開を学ぶ。
英言342	ルネサンス文学	2	2-0	3~4	前又は後	シェイクスピアを中心とする代表的作家の主要作品を取り上げ、その研究方法を学ぶ。
英言343	17・18世紀イギリス文学	2	2-0	3~4	前又は後	王政復古期及び18世紀の代表的作家の主要作品を取り上げ、その研究方法を学ぶ。
英言344	ロマン派文学	2	2-0	3~4	前又は後	イギリスロマン派文学の主要作品を取り上げ、その研究方法を学ぶ。
英言345	ヴィクトリア朝文学	2	2-0	3~4	前又は後	ヴィクトリア朝文学の主要作品を取り上げ、その研究方法を学ぶ。
英言346	現代イギリス文学	2	2-0	3~4	前又は後	20世紀以降のイギリス文学における主要作品を取り上げ、その研究方法を学ぶ。
英言347	イギリス文学研究 I	2	2-0	3~4	前又は後	イギリス文学における重要なテーマについて研究する。
英言348	イギリス文学研究 II	2	2-0	3~4	前又は後	イギリス文学における多様なテーマについて研究する。
英言350	アメリカ文学研究 I	2	2-0	2~4	前又は後	アメリカ文学の様々な作家や作品、及びジャンルについて学び、アメリカ文学を鑑賞するための基礎的な技術と知識を習得する。
英言351	アメリカ文学研究 II	2	2-0	2~4	前又は後	アメリカ文学の様々な作家や作品、及びジャンルを対象としながら、アメリカ文学を分析・解釈するための基礎的な方法について学ぶ。

英言352	アメリカ文学研究III	2	2-0	3~4	前又は後	アメリカ文学の様々な作家、作品、及びジャンルを対象として、それを批評するための理論についてより専門的なアプローチについて学ぶ。
英言353	アメリカ文学研究IV	2	2-0	3~4	前又は後	アメリカ文学の様々な作家、作品、及びジャンルについて自律した分析や解釈ができるように、さらに理解を深める。
英言354	アメリカ文学研究V	2	2-0	3~4	前又は後	アメリカ文学の様々な作家、作品、及びジャンルについて、先行研究をふまえたより専門的な議論の構築の方法や学術論文の書き方について学ぶ。
英言355	アメリカ文学研究VI	2	2-0	2~4	前又は後	アメリカ文学の様々な作家、作品、及びジャンルについて、自律した見解と先行研究にもとづく議論と執筆ルールをふまえ、専門性を備えた学術論文執筆の実践を行う。
英言358	アメリカ研究概説	2	2-0	2~4	前又は後	人種、エスニシティ、ジェンダー、階級など、アメリカの文化や社会のありようを特徴づけるテーマを通して、アメリカ研究の基礎的な知識を学ぶ。
英言359	アメリカ研究演習	2	2-0	3~4	前又は後	アメリカ研究に関するさまざまなテキストや理論の精読など、ゼミ形式の実践的な学習を通してアメリカ研究の基礎的な研究方法を学ぶ。
英言375	英語の意味解釈	2	2-0	2~4	前又は後	英語の意味について理論的・体系的に研究する。
英言377	英語の音声構造	2	2-0	3~4	前又は後	英語の音声と音韻構造を理論的・体系的に研究する。
英言379	英語の文構造	2	2-0	2~4	前又は後	英語の文や句の構造を理論的・体系的に研究する。
英言383	英語の異文化間コミュニケーション	2	2-0	2~4	前又は後	異文化が接触したときの言語現象や非言語行動、および文化摩擦現象をコミュニケーションの基礎理論を通して学ぶ。
英言384	コミュニケーションと文化	2	2-0	2~4	前又は後	英語を中心に、日常的なコミュニケーション事象を分析し、ことばと人、社会、文化との関連性について学ぶ。
英言385	談話とコミュニケーション	2	0-2	2~4	前又は後	英語などの自然会話の連鎖組織や書きことばの構造を考察し、コミュニケーション行為の仕組みと社会性を探求する。
英言395	英語学習論I	2	2-0	2~4	前又は後	外国語としての英語学習を心理学的手法を用いて概観し、その研究方法と理論を学ぶ。
英言396	英語学習論II	2	2-0	2~4	前又は後	外国語としての英語学習を社会文化理論を用いて精査し、その研究について学ぶ。
英言473	英語圏の言語政策と言語権	2	2-0	3~4	前又は後	英語が公用語または実質的な公用語として機能している国・地域における多言語社会の様態を学び、少数言語話者の言語権を保障した言語政策・言語計画を考察する。
英言474	日英語比較研究	2	2-0	3~4	前又は後	日本語と英語を比較研究し、それぞれの特徴及び共通性を研究する。
英言493	特定言語研究	2	2-0	3~4	前又は後	英語を含めた特定の言語の特定分野について、フィールドワークなどを通して研究する。
英言500	卒業研究	2	0-2	4	前又は後	4年間の学習の集大成として研究論文執筆や発表をおこなう。

プログラム専門科目（昼間主コース）

国際言語文化プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）

英語文化

科目番号	授業科目	単位	週時間	年次	学期	授業内容
英言386	英語コミュニケーションの多様性	2	2-0	2~4	前又は後	国際語としての英語について、音声・文法・語彙などの多様性を概観し、「世界諸英語(World Englishes)」の状況やその文化的背景について学ぶ。
国言501	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	0-2	3	前	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。
国言502	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	0-2	3	後	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。
国言503	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	0-2	4	前	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。
国言504	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	0-2	4	後	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。

プログラム専門科目（昼間主コース）

国際言語文化プログラム専門科目（基礎科目）

日本文化

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
日国111	日本語文章表現Ⅰ	2	2-0	1	前	文章構成、パラグラフ分析、要約文、レポートの書き方や発表資料作成法を学ぶ。
日国112	日本語文章表現Ⅱ	2	2-0	1	後	「日国111」の続き。
日国221	日本語作品講読Ⅰ	2	2-0	2	前	代表的な近現代の文学作品を精読する。
日国222	日本語作品講読Ⅱ	2	2-0	2	後	「日国221」の続き。
日国231	日本文化論Ⅰ	2	2-0	2	前	日本文化や日本社会の諸課題を取り上げ考察する。
日国232	日本文化論Ⅱ	2	2-0	2	後	「日国231」の続き。

プログラム専門科目（昼間主コース）

国際言語文化プログラム専門科目（応用科目）

日本文化

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
日国323	日本語演習Ⅰ	2	0-2	3	前	日本語学一般に関する知識を身につけ、日本語の様々な現象について言語学的に考察する。
日国324	日本語演習Ⅱ	2	0-2	3	後	「日国323」の続き。
日国441	二言語対照研究	2	2-0	4	前	日本語と自国語とを対照的言語学的に分析する。
日国443	国際事情Ⅰ	2	2-0	4	前	外国との関係における日本を現代史的に考察する。
日国444	国際事情Ⅱ	2	2-0	4	後	「日国443」の続き。

プログラム専門科目（昼間主コース）

国際言語文化プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）

日本文化

科目番号	授業科目	単位	週時間	年次	学期	授業内容
国言501	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	0-2	3	前	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。
国言502	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	0-2	3	後	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。
国言503	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	0-2	4	前	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。
国言504	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	0-2	4	後	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。

プログラム専門科目（昼間主コース）

国際言語文化プログラム専門科目（基礎科目）

ヨーロッパ言語文化

科目番号	授業科目	単位	週時間	年次	学期	授業内容
欧言200	ドイツ語オーラル・コミュニケーションⅠ	2	0-2	2～3	前	ドイツ語の発音訓練と口頭による表現力の基礎を養成する。
欧言201	ドイツ語トレーニングⅠ	2	0-2	2～3	前	読み、書き、聴き、話すためのより高度なドイツ語運用能力を養成する。
欧言202	フランス語オーラル・コミュニケーションⅠ	2	0-2	2～3	前	フランス語の発音訓練と口頭による表現力の基礎を養成する。
欧言203	フランス語トレーニングⅠ	2	0-2	2～3	前	読み、書き、聴き、話すためのより高度なフランス語運用能力を養成する。
欧言204	スペイン語オーラル・コミュニケーションⅠ	2	0-2	2～3	前	スペイン語の発音訓練と口頭による表現力の基礎を養成する。
欧言205	スペイン語トレーニングⅠ	2	0-2	2～3	前	読み、書き、聴き、話すためのより高度なスペイン語運用能力を養成する。
欧言206	ドイツ社会研究	2	2-0	2～3	前又は後	ドイツの日常生活や社会・文化の諸問題（環境、平和、外国人、再統一後の問題等）を研究する。
欧言207	ドイツ語オーラル・コミュニケーションⅡ	2	0-2	2～3	後	ドイツ語の発音訓練と口頭による表現力の基礎を養成する。
欧言208	ドイツ語文法Ⅰ	2	2-0	2～3	後	ドイツ語の文法規則について理解を深め、その運用能力を養成する。
欧言209	ドイツ語トレーニングⅡ	2	0-2	2～3	後	読み、書き、聴き、話すためのより高度なドイツ語運用能力を養成する。
欧言210	フランス社会研究	2	2-0	2～3	前又は後	フランスの日常生活や社会・文化の諸問題（環境、平和、移民・難民問題等）を研究する。
欧言211	フランス語オーラル・コミュニケーションⅡ	2	0-2	2～3	後	フランス語の発音訓練と口頭による表現力の基礎を養成する。
欧言212	フランス語文法Ⅰ	2	2-0	2～3	後	フランス語の文法規則について理解を深め、その運用能力を養成する。
欧言213	フランス語トレーニングⅡ	2	0-2	2～3	後	読み、書き、聴き、話すためのより高度なフランス語運用能力を養成する。
欧言214	スペイン社会研究	2	2-0	2～3	前又は後	スペインの日常生活や社会・文化の諸問題（環境、平和、移民・難民問題等）を研究する。
欧言215	スペイン語オーラル・コミュニケーションⅡ	2	0-2	2～3	後	スペイン語の発音訓練と口頭による表現力の基礎を養成する。
欧言216	スペイン語文法Ⅰ	2	2-0	2～3	後	スペイン語の文法規則について理解を深め、その運用能力を養成する。
欧言217	スペイン語トレーニングⅡ	2	0-2	2～3	後	読み、書き、聴き、話すためのより高度なスペイン語運用能力を養成する。

プログラム専門科目（昼間主コース）

国際言語文化プログラム専門科目（応用科目）

ヨーロッパ言語文化

科目番号	授業科目	単位	週時間	年次	学期	授業内容
国言101	学外実地研修	2	0-2	2～4	前又は後	合宿研修等を通して、外国語のコミュニケーション能力を身につける。
国言102	異文化実地研修A	2	0-2	1～4	前又は後	英語圏諸国の大学等において行われるサマースクールや短期セミナー等に参加し、その国の言語・歴史・文化等に関する科目を履修するとともに、異文化理解を深める。
国言103	異文化実地研修B	2	0-2	1～4	前又は後	ヨーロッパの協定校等での集中講義やセミナーへの参加、エクスカーションや各国の学生との交流を通して、コミュニケーション能力の向上と異文化理解の深化を図る。
欧言300	ドイツ語ライティングⅠ	2	0-2	3～4	前又は後	ドイツ語の構造や特徴に留意しながら、基礎的な文章表現力を養う。
欧言301	ドイツ語リーディングⅠ	2	0-2	3～4	前又は後	小説、評論、時事ドイツ語等を取り上げた初級者用教材の精読を通して基礎的な読解力を養成する。
欧言302	ドイツ文化研究Ⅰ	2	2-0	3～4	前又は後	ドイツの時事的なテーマ、歴史、文化、芸術、音楽、映画等について研究する。
欧言303	ドイツ語文法Ⅱ	2	2-0	3～4	前又は後	基礎的なドイツ語運用能力を高め、実践的な文法力を養う。
欧言304	フランス語ライティングⅠ	2	0-2	3～4	前又は後	フランス語の構造や特徴に留意しながら、基礎的な文章表現力を養う。
欧言305	フランス語リーディングⅠ	2	0-2	3～4	前又は後	小説、評論、時事フランス語等を取り上げた初級者用教材の精読を通して基礎的な読解力を養成する。
欧言306	フランス文化研究Ⅰ	2	2-0	3～4	前又は後	フランスの時事的なテーマ、歴史、文化、芸術、音楽、映画等について研究する。

欧言307	フランス語文法Ⅱ	2	2-0	3~4	前又は後	基礎的なフランス語運用能力を高め、実践的な文法力を養う。
欧言308	スペイン語ライティングⅠ	2	0-2	3~4	前又は後	スペイン語の構造や特徴に留意しながら、基礎的な文章表現力を養う。
欧言309	スペイン語リーディングⅠ	2	0-2	3~4	前又は後	小説、評論、時事スペイン語等を取り上げた初級者用教材の精読を通して基礎的な読解力を養成する。
欧言310	スペイン文化研究Ⅰ	2	2-0	3~4	前又は後	スペインの時事的なテーマ、歴史、文化、芸術、音楽、映画等について研究する。
欧言311	スペイン語文法Ⅱ	2	2-0	3~4	前又は後	基礎的なスペイン語運用能力を高め、実践的な文法力を養う。
欧言312	ドイツ語ライティングⅡ	2	0-2	3~4	前又は後	ドイツ語の構造や特徴に留意しながら、基礎的な文章表現力を養う。
欧言313	ドイツ語表現法	2	0-2	3~4	前又は後	視聴覚教材を用いてリスニング能力の向上をはかるとともに、テーマに応じた口頭表現の訓練を行う。
欧言314	ドイツ語文学史	2	2-0	3~4	前又は後	ドイツ文学の主要作品と思潮を通史として概観する。
欧言315	ドイツ語リーディングⅡ	2	0-2	3~4	前又は後	小説、評論、時事ドイツ語等を取り上げた初級者用教材の精読を通して基礎的な読解力を養成する。
欧言316	ドイツ語学研究	2	2-0	3~4	前又は後	ドイツ語を音韻論、形態論、統語論、意味論の側面から考察する。
欧言317	ドイツ文化研究Ⅱ	2	2-0	3~4	前又は後	ドイツの時事的なテーマ、歴史、文化、芸術、音楽、映画等について研究する。
欧言318	フランス語ライティングⅡ	2	0-2	3~4	前又は後	フランス語の構造や特徴に留意しながら、基礎的な文章表現力を養う。
欧言319	フランス語表現法	2	0-2	3~4	前又は後	視聴覚教材を用いてリスニング能力の向上をはかるとともに、テーマに応じた口頭、文章表現の訓練を行う。
欧言320	フランス語文学史	2	2-0	3~4	前又は後	フランス文学の主要作品と思潮を通史として概観する。
欧言321	フランス語リーディングⅡ	2	0-2	3~4	前又は後	小説、評論、時事フランス語等を取り上げた初級者用教材の精読を通して基礎的な読解力を養成する。
欧言322	フランス語学研究	2	2-0	3~4	前又は後	フランス語を音韻論、形態論、統語論、意味論の側面から考察する。
欧言323	フランス文化研究Ⅱ	2	2-0	3~4	前又は後	フランスの時事的なテーマ、歴史、文化、芸術、音楽、映画等について研究する。
欧言324	スペイン語ライティングⅡ	2	0-2	3~4	前又は後	スペイン語の構造や特徴に留意しながら、基礎的な文章表現力を養う。
欧言325	スペイン語表現法	2	0-2	3~4	前又は後	視聴覚教材を用いてリスニング能力の向上をはかるとともに、テーマに応じた口頭、文章表現の訓練を行う。
欧言326	スペイン語文学史	2	2-0	3~4	前又は後	スペイン文学の主要作品と思潮を通史として概観する。
欧言327	スペイン語リーディングⅡ	2	0-2	3~4	前又は後	小説、評論、時事スペイン語等を取り上げた初級者用教材の精読を通して基礎的な読解力を養成する。
欧言328	スペイン語学研究	2	2-0	3~4	前又は後	スペイン語を音韻論、形態論、統語論、意味論の側面から考察する。
欧言329	スペイン文化研究Ⅱ	2	2-0	3~4	前又は後	スペインの時事的なテーマ、歴史、文化、芸術、音楽、映画等について研究する。
欧言400	ドイツ言語文化演習Ⅰ	2	0-2	3~4	前又は後	ドイツの時事的なテーマ、歴史、文化、芸術、音楽、映画等について演習する。
欧言401	ドイツ語アドヴァンストリーディングⅠ	2	0-2	3~4	前又は後	小説、詩、演劇、評論、学術論文、時事ドイツ語等、多種多様な文章の精読を通して正確な読解力を養成する。
欧言402	フランス言語文化演習Ⅰ	2	0-2	3~4	前又は後	フランスの時事的なテーマ、歴史、文化、芸術、音楽、映画等について演習する。
欧言403	フランス語アドヴァンストリーディングⅠ	2	0-2	3~4	前又は後	小説、詩、演劇、評論、学術論文、時事フランス語等、多種多様な文章の精読を通して正確な読解力を養成する。
欧言404	スペイン言語文化演習Ⅰ	2	0-2	3~4	前又は後	スペインの時事的なテーマ、歴史、文化、芸術、音楽、映画等について演習する。
欧言405	スペイン語アドヴァンストリーディングⅠ	2	0-2	3~4	前又は後	小説、詩、演劇、評論、学術論文、時事スペイン語等、多種多様な文章の精読を通して正確な読解力を養成する。
欧言406	ドイツ言語文化演習Ⅱ	2	0-2	3~4	前又は後	ドイツの時事的なテーマ、歴史、文化、芸術、音楽、映画等について演習する。
欧言407	ドイツ語アドヴァンストリーディングⅡ	2	0-2	3~4	前又は後	小説、詩、演劇、評論、学術論文、時事ドイツ語等、多種多様な文章の精読を通して正確な読解力を養成する。
欧言408	フランス言語文化演習Ⅱ	2	0-2	3~4	前又は後	フランスの時事的なテーマ、歴史、文化、芸術、音楽、映画等について演習する。

欧言409	フランス語アドヴァンストリーディングⅡ	2	0-2	3~4	前又は後	小説、詩、演劇、評論、学術論文、時事フランス語等、多種多様な文章の精読を通して正確な読解力を養成する。
欧言410	スペイン語言語文化演習Ⅱ	2	0-2	3~4	前又は後	スペインの時事的なテーマ、歴史、文化、芸術、音楽、映画等について演習する。
欧言411	スペイン語アドヴァンストリーディングⅡ	2	0-2	3~4	前又は後	小説、詩、演劇、評論、学術論文、時事スペイン語等、多種多様な文章の精読を通して正確な読解力を養成する。
欧言420	卒業研究	2	0-2	4	前又は後	4年間の学習の集大成として研究論文執筆や発表をおこなう。

プログラム専門科目 (昼間主コース)

国際言語文化プログラム専門科目 (地域・国際実践力科目)

ヨーロッパ言語文化

科目番号	授業科目	単位	週時間	年次	学期	授業内容
国言501	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	0-2	3	前	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。
国言502	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	0-2	3	後	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。
国言503	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	0-2	4	前	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。
国言504	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	0-2	4	後	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。

卒業要件 国際言語文化プログラム（昼間主コース）

授業科目の区分		必修	選択	選択必修	
共通教育	教養領域	健康運動系科目	2	2	
		人文系科目	2		
		社会系科目	2		
		自然系科目	2		
	総合領域	総合	4		
		琉大特色科目・地域創生科目			
		キャリア関係科目			
	基幹領域	情報関係科目	8		
		第1外国語			
		第2外国語			
小計		28	2		
共通教育科目総計		30			
専門教育	学部共通基盤専門科目	専門基盤力科目	2	12	
		地域・国際基盤力科目（プログラム系科目）		6	
		地域・国際基盤力科目（プログラム複合科目）			4
	プログラム専門科目	国際言語文化プログラム専門科目	2	30	
		地域・国際実践力科目	8	4	
	地域・国際実践力科目（読替科目）			26	
	小計		12	78	4
専門教育科目総計		94			
総単位数		124			

1. 卒業単位は合計124単位以上とする。

2. 共通教育科目は30単位とする。

教養領域	健康運動系科目	2単位以上
	人文系科目	2単位以上
	社会系科目	2単位以上
	自然系科目	2単位以上

総合領域	琉大特色・地域創生及びキャリア関係科目	4単位以上
------	---------------------	-------

健康運動系科目を除く教養領域・総合領域及び情報関係科目	2単位以上
-----------------------------	-------

基幹領域	第1外国語	8単位以上
------	-------	-------

※第一外国語が英語の場合、「大学英語」「英語講読演習中級」を含むこと。

※第一外国語でドイツ語、フランス語、スペイン語を選択した場合、それぞれ「インテンシブドイツ語I・II」、「インテンシブフランス語I・II」あるいは「インテンシブスペイン語I・II」のいずれかを8単位履修すること。

第2外国語	8単位以上
-------	-------

※第一外国語が英語の場合、第二外国語はインテンシブドイツ語I・II、インテンシブフランス語I・II、インテンシブスペイン語I・II、中国語基礎I・IIのうちから1つの言語を選択する。

※第一外国語が英語以外の言語で、第二言語で英語を選択する場合、「大学英語」「英語講読演習中級」を含み8単位、あるいは第一外国語で選択した言語以外の同一言語から8単位履修する。

※外国人留学生の場合、第一外国語は日本語とし、日本語上級レベルのクラスを合計8単位履修すること。

第二外国語に関しては、英語の場合は「大学英語」を含み8単位。その他の場合は「ドイツ語入門I、II、III、IV」、「フランス語入門I、II、III、IV」、「スペイン語入門I、II、III、IV」、「中国語基礎I、II」、「朝鮮語基礎I、II」のうちから一つの言語を選択して8単位履修すること。

注1) 共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。

3. 専門科目は94単位以上とする。

(1) 学部共通基盤専門科目は以下のとおり合計24単位以上を履修する。

○専門基盤力科目は、基礎演習(2単位・必修)を含む14単位以上を履修する。

- ・学部共通基盤専門科目(専門基盤力科目)のうち、国際言語文化プログラム提供の英米文化入門、英米文学概論、ヨーロッパ文化論、言語科学入門の中から3科目および、他の2つ以上のプログラム提供の科目をそれぞれ1科目以上履修すること。

○地域・国際基盤力科目は、10単位以上履修する。

- ・プログラム系科目を6単位以上を履修する。
- ・プログラム複合科目(選択必修)を4単位以上を履修する。

(2) プログラム専門科目は以下のとおり合計70単位以上を履修する。

○国際言語文化プログラム専門科目は、卒業研究(2単位・必修)を含む32単位以上を履修する。

○地域・国際実践力科目は、地域・国際実践力演習Ⅰ～Ⅳ(必修・8単位)を含む12単位以上を履修する。

○他プログラム・他学部提供の専門科目・教職科目は、プログラム専門科目(地域・国際実践力科目)の単位として読み替えることができる。

○学部共通基盤専門科目(24単位)及びプログラム専門科目(32単位)を超過した分は、プログラム専門科目(地域・国際実践力科目)の単位として読み替えることができる。

(3) 一学期に登録できる単位数の上限は20単位(共通教育科目を含め)とする。ただし、集中講義はこの中に含まない。

(4) 直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は、指導教員の指導・承認を得て26単位までの登録を認める。

(5) GPAの値にかかわらず、教員免許・博物館学芸員等の資格取得予定者は、指導教員の指導・承認を得て登録単位の上積みを6単位まで認める。ただし、超過する分は資格取得に必要な該当科目とする。

(6) 資格取得希望者に該当する者のGPAが3.0以上の場合でも26単位までとする。

注2) 昼間主コースの学生は、夜間に開講される授業科目から履修することができ、そのうち40単位までは卒業単位として認められる。

プログラム専門科目（夜間主コース）

国際言語文化プログラム専門科目（基礎科目）

英語文化

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
B英言111	リーディングⅠ	2	0-2	2	前	様々な分野の比較的長い英語の論考、エッセイを、速読して大意を理解する訓練をする。
B英言119	実用英語演習Ⅱ	2	0-2	1~4	前又は後	社会におけるさまざまな場面において英語と日本語で双方向的に情報を発信できる総合的英語力を養成する。
B英言121	英文法演習	2	1-1	1	後	英文法と英作文を相互補完的に学習する。
B英言141	英米文学概論	2	2-0	1	前	イギリス・アメリカ文学の基礎知識を作品を通じて通覧し、英米文化に対する理解を深める。
B英言181	英語研究Ⅰ	2	2-0	2	前又は後	英語学／言語学の基礎を中心に学ぶ。
B英言201	異文化理解	2	2-0	1	後	多様な文化背景を持つ英文の講読や、英語によるコミュニケーション活動を通じて異文化についての理解を深める。
B英言221	ライティングⅠ	2	0-2	1	前	グローバル及びローカルな問題を扱ったエッセイの書き方を訓練する。
B英言222	ライティングⅡ	2	0-2	3	後	「ライティングⅠ」の続き。
B英言231	オーラルコミュニケーションⅠ	2	0-2	1	前	日常的な場面において、英語によるコミュニケーション活動が適切に行えるよう訓練する。
B英言232	オーラルコミュニケーションⅡ	2	0-2	2	後	「オーラルコミュニケーションⅠ」の続き。
B英言241	イギリス文学概論	2	2-0	2	後	イギリスの代表的作家の主要作品の鑑賞を通してイギリス文学を歴史的に概観する。
B英言242	アメリカ文学概論	2	2-0	2	前	アメリカの代表的作家の主要作品の鑑賞を通してアメリカ文学を歴史的に概観する。
B英言281	英語研究Ⅱ	2	2-0	2	後	英語を中心とした言語習得に関わる様々な理論を概観しながら、母語習得や第二言語習得（外国語教育）についての基礎的知識を学ぶ。
B英言282	英語研究Ⅲ	2	2-0	2	後	英語を中心とした（異文化）コミュニケーション学／社会言語学の基礎を中心に学ぶ。
B英言311	上級英語演習	2	2-0	3	前又は後	グローバルおよびローカルな問題に関する英文を精読し、自分の意見を論理的な英文で書く訓練をする。
B英言312	アカデミックプレゼンテーションⅠ	2	0-2	2	後	様々な学問分野において、英語による効果的なプレゼンテーションの方法の基礎を学ぶ。
B英言313	アカデミックプレゼンテーションⅡ	2	0-2	3	後	様々な学問分野において、英語による効果的なプレゼンテーションの方法の応用を学ぶ。

プログラム専門科目（夜間主コース）

国際言語文化プログラム専門科目（応用科目）

英語文化

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
B英言101	学外実地研修	2	0-2	3~4	前又は後	合宿研修を通して、英語のコミュニケーション能力を身につける。
B英言112	リーディングⅡ	2	0-2	3	前	本講義は、論説文、文芸という種類の異なる英文のテキストを読み、それぞれの主題を核とした批判的思考の実践を身につける。
B英言115	英語資格試験演習	2	0-2	3	前又は後	客観的な英語能力の指標となるTOEFLおよびTOEICの試験内容について、学習方略を含めた問題演習を行う。
B英言333	英米言語文化特殊講義Ⅰ	2	2-0	3~4	前又は後	英文法を普遍文法の観点から考察し人間言語の仕組みについて理解を深める。
B英言334	英米言語文化特殊講義Ⅱ	2	2-0	3~4	前又は後	英語の母語習得理論及び外国語習得理論の理解を基に、日本人学習者が英語を学習するときに抱える困難と、その解決方法について学ぶ。
B英言335	英米言語文化特殊講義Ⅲ	2	2-0	3~4	前又は後	英米の言語、文化、歴史を主とした文化総体の様々な側面に関する主題に関するプレゼンテーションとディスカッションを実施し、仕上げとして取り上げられた主題についてのterm paperを作成する。
B英言336	英米言語文化特殊講義Ⅳ	2	2-0	3~4	前又は後	19世紀前半までのアメリカ合衆国草創期の文学作品を読むことをとおして、その後形成されていくアメリカ的価値観の展開を学ぶ。
B英言441	イギリス文学研究Ⅰ	2	2-0	3	前又は後	イギリス文学における主要なテーマについて研究する。
B英言442	イギリス文学研究Ⅱ	2	2-0	3	前又は後	イギリス文学における特定の課題について研究する。
B英言443	イギリス文化論	2	2-0	3~4	前又は後	イギリスの文学、思想、言語など、イギリス文化の諸相を研究する。
B英言350	アメリカ文学研究Ⅰ	2	2-0	3~4	前又は後	アメリカ文学における主要作品を取り上げ、その研究方法の基礎を学ぶ。
B英言351	アメリカ文学研究Ⅱ	2	2-0	3~4	前又は後	アメリカ文学における主要作品を取り上げ、その研究方法の実践を学ぶ。
B英言352	アメリカ文学研究Ⅲ	2	2-0	3~4	前又は後	アメリカ文学における主要作品を取り上げ、その研究方法の応用を学ぶ。

B英言358	アメリカ研究概説	2	2-0	2~4	前又は後	人種、エスニシティ、ジェンダー、階級など、アメリカの文化や社会のありようを特徴づけるテーマを通して、アメリカ研究の基礎的な知識を学ぶ。
B英言359	アメリカ研究演習	2	2-0	3~4	前又は後	アメリカ研究に関するさまざまなテキストや理論の精読など、ゼミ形式の実践的な学習を通してアメリカ研究の基礎的な研究方法を学ぶ。
B英言377	英語の音声構造	2	2-0	3~4	前又は後	英語の音声と音韻構造を理論的・体系的に研究する。
B英言379	英語の文構造	2	2-0	3~4	前又は後	英語の文や句の構造を理論的・体系的に研究する。
B英言386	英語コミュニケーションの多様性	2	2-0	3~4	前又は後	国際語としての英語について、音声・文法・語彙などの多様性を概観し、「世界諸英語(World Englishes)」の状況やその文化的背景について学ぶ。
B英言395	英語学習論I	2	2-0	3~4	前又は後	外国語としての英語学習を心理学的手法を用いて概観し、その研究方法と理論を学ぶ。
B英言396	英語学習論II	2	2-0	3~4	前又は後	外国語としての英語学習を社会文化理論を用いて精査し、その研究について学ぶ。
B英言410	異文化実地研修A	2	0-2	3~4	前又は後	英語圏諸国の大学等において行われるサマースクールや短期セミナー等に参加し、その国の言語・歴史・文化等に関する科目を履修するとともに、異文化理解を深める。
B英言420	異文化実地研修B	2	0-2	3~4	前又は後	海外協定校での集中講義やセミナーへの参加、エクスカーションや各国の学生との交流を通して、コミュニケーション能力の向上と異文化理解の深化を図る。
B英言473	英語圏の言語政策と言語権	2	2-0	3~4	前又は後	英語が公用語または実質的な公用語として機能している国・地域における多言語社会の様態を学び、少数言語話者の言語権を保障した言語政策・言語計画を考察する。
B英言500	卒業研究	2	0-2	4	前又は後	4年間の学習の集大成として研究論文執筆や発表をおこなう。

プログラム専門科目（夜間主コース）

国際言語文化プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）

英語文化

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	授業内容
B国言501	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	0-2	3	前	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。
B国言502	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	0-2	3	後	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。
B国言503	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	0-2	4	前	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。
B国言504	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	0-2	4	後	各分野別に個別研究、討議、発表、論文の作成を行う。

卒業要件 国際言語文化プログラム（夜間主コース）

授業科目の区分		必修	選択	
共通教育	教養領域	健康運動系科目	2	10
		人文系科目	4	
		社会系科目	4	
		自然系科目	4	
	総合領域	総合		
		琉大特色科目・地域創生科目		
		キャリア関係科目		
	基幹領域	情報関係科目		
		第1外国語（英語）	8	
		第2外国語	8	
小計		30	10	
共通教育科目総計		40		
専門教育	学部共通基盤専門科目	専門基盤力科目	6	2
	プログラム専門科目	国際言語文化プログラム専門科目（基礎科目）	34	
		国際言語文化プログラム専門科目（応用科目）	6	4
		地域・国際実践力科目	8	
	地域・国際実践力科目（読替科目）			24
	小計		54	30
	専門教育科目総計		84	
総単位数		124		

- 卒業単位は合計124単位以上とする。
- 共通教育科目は40単位とする。

教養領域	健康運動系科目	2単位以上
	人文系科目	4単位以上
	社会系科目	4単位以上
	自然系科目	4単位以上
健康運動系科目を除く教養領域・総合領域及び情報関係科目		10単位以上
基幹領域	第1外国語（英語）	8単位以上
	第2外国語	8単位以上

- 第一外国語は英語とし、「大学英语」、「英語講読演習中級」、及び選択科目から1科目の8単位を履修すること。
- 第二外国語に関しては、「ドイツ語入門I、II、III、IV」、「インテンシブフランス語I・II」、「スペイン語入門I、II、III、IV」、「中国語基礎I、II」のうちから一つの言語を選択して8単位以上履修すること。

注1）共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。

- 専門科目は84単位以上とする。

- 学部共通基盤専門科目は、基礎演習（2単位・必修）を含む8単位以上を履修する。
 - 学部共通基盤専門科目のうち、国際言語文化プログラム提供のメディアの英語、実用英語演習Iを履修すること。
- プログラム専門科目は以下のとおり合計76単位以上を履修する。
 - 国際言語文化プログラム専門科目（基礎科目）は、34単位を必ず履修する。
 - 国際言語文化プログラム専門科目（応用科目）は、リーディングII（2単位）、英語資格試験演習（2単位）、卒業研究（2単位）を含む10単位以上を履修する。
 - 地域・国際実践力科目は、地域・国際実践力演習I～IV（必修・8単位）を必ず履修する。
 - 他プログラム・他学部提供の専門科目・教職科目は、プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）の単位として読み替えることができる。
 - 学部共通基盤専門科目（8単位）及びプログラム専門科目（44単位）を超過した分は、プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）の単位として読み替えることができる。
- 一学期に登録できる単位数の上限は20単位（共通教育科目を含め）とする。ただし、集中講義はこの中に含まない。
- 直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は、指導教員の指導・承認を得て26単位までの登録を認める。
- GPAの値にかかわらず、教員免許・博物館学芸員等の資格取得予定者は、指導教員の指導・承認を得て登録単位の上積みを6単位まで認める。ただし、超過する分は資格取得に必要な該当科目とする。
- 資格取得希望者に該当する者のGPAが3.0以上の場合でも26単位までとする。

注2）夜間主コースの学生は、昼間に開講される授業科目から履修することができ、そのうち40単位（教員免許関係の科目を除く）までは卒業単位として認められる。

プログラム専門科目（昼間主コース）
 地域文化科学プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
地文101	社会人類学Ⅱ	2	(2-0)	1	後	社会人類学の各論を概観する。
地文102	考古学Ⅱ	2	(2-0)	1	後	考古学の各論を概観する。
地文103	民俗学Ⅱ	2	(2-0)	1	後	民俗学の各論を概観する。
地文201	地域文化科学リテラシー	2	(0-2)	2	前又は後	地理学，歴史学，人類学の基礎的な技能体験と演習を行う。
地文211	人文地理学概論	2	(2-0)	2	前	文化，社会，都市，経済をテーマに地理学を概観する。
地文212	地理学実験Ⅰ	1	(0-2)	2	前	GIS に関連する情報処理の実習を行う。
地文213	地理学実験Ⅱ	1	(0-2)	2	後	地理学研究に必要な技能を修得する。
地文214	地理空間情報学	2	(2-0)	2	後	GIS の基本的機能と空間データに関する講義を行う。
地文215	経済地理学	2	(2-0)	2～3	前又は後	立地論などをテーマとした地理学の講義を行う。
地文216	島嶼地理学	2	(2-0)	2～3	前又は後	島嶼地域をテーマとした地理学の講義を行う。
地文217	文化地理学	2	(2-0)	2～3	前又は後	文化をテーマにした地理学の講義を行う。
地文218	地形学	2	(2-0)	2～3	前又は後	地形営力論と岩石制約論に関する講義を行う。
地文219	水文環境学	2	(2-0)	2～3	前又は後	水循環と水収支，および水が関与する環境問題に関する講義を行う。
地文231	日本史実践演習Ⅰ	2	(0-2)	2	前又は後	日本史で取り扱う基本的な史料を読解する。
地文232	日本史実践演習Ⅱ	2	(0-2)	2	前又は後	日本史で取り扱う基本的な史料を読解する。
地文233	日本史実践演習Ⅲ	2	(0-2)	2	前又は後	日本史で取り扱う基本的な史料を読解する。
地文234	世界史実践演習Ⅰ（東洋史）	2	(0-2)	2	前又は後	東洋史で取り扱う基本的な史料を読解する。
地文235	世界史実践演習Ⅱ（西洋史）	2	(0-2)	2	前又は後	西洋史で取り扱う基本的な史料を読解する。
地文236	世界史実践演習Ⅲ（東洋史または西洋史）	2	(0-2)	2	前又は後	東洋史又は西洋史で取り扱う基本的な史料を読解する。
地文237	文化史	2	(2-0)	2～3	前又は後	文化史に関する諸問題を概観する。
地文238	日本史研究Ⅰ	2	(2-0)	2～3	前又は後	日本史の諸問題を考究する。
地文239	日本史研究Ⅱ	2	(2-0)	2～3	前又は後	日本史の諸問題を考究する。
地文240	日本史研究Ⅲ	2	(2-0)	2～3	前又は後	日本史の諸問題を考究する。
地文241	日本史研究Ⅳ	2	(2-0)	2～4	前又は後	日本史の諸問題を考究する。
地文242	日本史研究Ⅴ	2	(2-0)	2～4	前又は後	日本史の諸問題を考究する。
地文243	日本史研究Ⅵ	2	(2-0)	2～4	前又は後	日本史の諸問題を考究する。
地文244	世界史研究Ⅰ（東洋史）	2	(2-0)	2～3	前又は後	東洋史の諸問題を考究する。
地文245	世界史研究Ⅱ（西洋史）	2	(2-0)	2～3	前又は後	西洋史の諸問題を考究する。

地文246	世界史研究Ⅲ（東洋史または西洋史）	2	(2-0)	2～3	前又は後	東洋史又は西洋史の諸問題を考究する。
地文247	世界史研究Ⅳ（東洋史）	2	(2-0)	2～4	前又は後	東洋史の諸問題を考究する。
地文248	世界史研究Ⅴ（西洋史）	2	(2-0)	2～4	前又は後	西洋史の諸問題を考究する。
地文249	世界史研究Ⅵ（東洋史または西洋史）	2	(2-0)	2～4	前又は後	東洋史又は西洋史の諸問題を考究する。
地文261	社会人類学調査法Ⅰ	2	(2-0)	2	前又は後	社会人類学の調査研究法について修得する。
地文262	考古学研究方法論Ⅰ	2	(2-0)	2	前又は後	考古学の調査研究法について修得する。
地文263	民俗学調査法Ⅰ	2	(2-0)	2	前又は後	民俗学の調査研究法について修得する。
地文264	社会人類学学説史	2	(2-0)	2～3	前又は後	社会人類学の学説史に関する講義を行う。
地文265	民族誌Ⅰ	2	(2-0)	2～3	前又は後	世界各地の民族誌に関する講義を行う。
地文266	民族誌Ⅱ	2	(2-0)	2～3	前又は後	世界各地の民族誌に関する講義を行う。
地文267	民族誌Ⅲ	2	(2-0)	2～3	前又は後	世界各地の民族誌に関する講義を行う。
地文268	民族誌Ⅳ	2	(2-0)	2～3	前又は後	世界各地の民族誌に関する講義を行う。
地文269	考古学史	2	(2-0)	2～3	前又は後	考古学の歩みについての講義を行う。
地文311	地理学実験Ⅲ	1	(0-2)	3	前	地理学研究に必要な技能を修得する。
地文312	地理学実験Ⅳ	1	(0-2)	3	後	地理学研究に必要な技能を修得する。
地文313	社会人類学調査法Ⅱ	2	(2-0)	3	前又は後	社会人類学の調査研究法について修得する。
地文314	考古学研究方法論Ⅱ	2	(2-0)	3	前又は後	考古学の調査研究法について修得する。
地文315	民俗学調査法Ⅱ	2	(2-0)	3	前又は後	民俗学の調査研究法について修得する。

プログラム専門科目（昼間主コース）
地域文化科学プログラム専門科目（応用科目）

科目番号	授業科目	単位数	週時間	受講年次	学期	授業内容
地文306	教職応用演習Ⅰ	2	(0-2)	3	前又は後	中学社会科、高校地歴科の教職免許取得のための実践的演習を行う。
地文307	教職応用演習Ⅱ	2	(0-2)	3	前又は後	中学社会科、高校地歴科の教職免許取得のための実践的演習を行う。
地文321	人文地理学研究	2	(0-2)	3	前又は後	人文地理学の研究テーマに関する演習を行う。
地文322	自然地理学研究	2	(0-2)	3	前又は後	自然地理学の研究テーマに関する演習を行う。
地文323	地誌学研究	2	(0-2)	3	前又は後	地誌学の研究テーマに関する演習を行う。
地文324	地理空間分析Ⅰ（GIS）	1	(0-2)	3	前又は後	GISによる地図作成・空間分析の実習を行う。
地文325	地理空間分析Ⅱ（GIS）	1	(0-2)	3	前又は後	GISによる地図作成・空間分析の実習を行う。
地文326	人文地理学実践研究	2	(0-2)	3	前又は後	人文地理学の特定テーマに関する講義を行う。
地文327	自然地理学実践研究	2	(0-2)	3	前又は後	自然地理学の特定テーマに関する講義を行う。
地文328	地誌学実践研究	2	(0-2)	3	前又は後	地誌学の特定テーマに関する講義を行う。

地文341	日本史実践演習Ⅳ	2	(0-2)	3	前又は後	日本史で取り扱う基本的な史料を読解する。
地文342	日本史実践演習Ⅴ	2	(0-2)	3	前又は後	日本史で取り扱う基本的な史料を読解する。
地文343	日本史実践演習Ⅵ	2	(0-2)	3	前又は後	日本史で取り扱う基本的な史料を読解する。
地文344	世界史実践演習Ⅳ（東洋史）	2	(0-2)	3	前又は後	東洋史で取り扱う基本的な史料を読解する。
地文345	世界史実践演習Ⅴ（西洋史）	2	(0-2)	3	前又は後	西洋史で取り扱う基本的な史料を読解する。
地文346	世界史実践演習Ⅵ（東洋史または西洋史）	2	(0-2)	3	前又は後	東洋史又は西洋史で取り扱う基本的な史料を読解する。
地文361	社会人類学研究Ⅰ（地域別課題）	2	(2-0)	2～4	前又は後	社会人類学の地域別課題に関する講義を行う。
地文362	社会人類学研究Ⅱ（方法論的課題）	2	(2-0)	2～4	前又は後	社会人類学の方法論的課題に関する講義を行う。
地文363	社会人類学研究Ⅲ（地域別課題）	2	(2-0)	2～4	前又は後	社会人類学の地域別課題に関する講義を行う。
地文364	社会人類学研究Ⅳ（方法論的課題）	2	(2-0)	2～4	前又は後	社会人類学の方法論的課題に関する講義を行う。
地文365	社会人類学研究Ⅴ（地域別課題）	2	(2-0)	2～4	前又は後	社会人類学の地域別課題に関する講義を行う。
地文366	社会人類学研究Ⅵ（方法論的課題）	2	(2-0)	2～4	前又は後	社会人類学の方法論的課題に関する講義を行う。
地文367	考古学研究Ⅰ（地域別課題）	2	(2-0)	2～4	前又は後	考古学の地域別課題に関する講義を行う。
地文368	考古学研究Ⅱ（地域別課題）	2	(2-0)	2～4	前又は後	考古学の地域別課題に関する講義を行う。
地文369	考古学研究Ⅲ（時間別課題）	2	(2-0)	2～4	前又は後	考古学の時間別課題に関する講義を行う。
地文370	考古学研究Ⅳ（時間別課題）	2	(2-0)	2～4	前又は後	考古学の時間別課題に関する講義を行う。
地文371	考古学研究Ⅴ（方法論的課題）	2	(2-0)	2～4	前又は後	考古学の方法論的課題に関する講義を行う。
地文372	考古学研究Ⅵ（方法論的課題）	2	(2-0)	2～4	前又は後	考古学の方法論的課題に関する講義を行う。
地文373	民俗学研究Ⅰ（社会伝承）	2	(2-0)	2～4	前又は後	民俗学の社会伝承に関する講義を行う。
地文374	民俗学研究Ⅱ（経済伝承）	2	(2-0)	2～4	前又は後	民俗学の経済伝承に関する講義を行う。
地文375	民俗学研究Ⅲ（信仰伝承）	2	(2-0)	2～4	前又は後	民俗学の信仰伝承に関する講義を行う。
地文376	民俗学研究Ⅳ（儀礼伝承）	2	(2-0)	2～4	前又は後	民俗学の儀礼伝承に関する講義を行う。
地文377	民俗学研究Ⅴ（地域別課題）	2	(2-0)	2～4	前又は後	民俗学の地域別課題に関する講義を行う。
地文378	民俗学研究Ⅵ（方法論的課題）	2	(2-0)	2～4	前又は後	民俗学の方法論的課題に関する講義を行う。
地文379	自然遺産と博物館	2	(2-0)	3～4	前又は後	自然遺産と博物館について体系的な講義を行う。
地文380	文化財と博物館	2	(2-0)	3～4	前又は後	文化財と博物館について体系的な講義を行う。
地文381	沖縄民俗社会論	2	(2-0)	3～4	前又は後	沖縄の民俗社会に関する講義を行う。
地文382	沖縄考古学論	2	(2-0)	3～4	前又は後	琉球列島の考古学についての講義を行う。
地文383	水中考古学	2	(2-0)	3～4	前又は後	水中考古学に関する講義を行う。
地文400	卒業研究	2	(0-2)	4	後	大学生活の集大成として、卒業論文を作成する。

プログラム専門科目（昼間主コース）

地域文化科学プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
地文200	地域文化科学フィールドワーク I	2	(0-2)	2	前	地理学, 歴史学, 人類学研究のための実習を行う。
地文300	地域文化科学フィールドワーク II	2	(0-2)	3	前	地理学, 歴史学, 人類学研究のための実習を行う。
地文221	人文地理学とフィールド	2	(0-2)	2～3	前又は後	人文地理学の演習と巡検を行う。
地文222	自然地理学とフィールド	2	(0-2)	2～3	前又は後	自然地理学の演習と巡検を行う。
地文223	地誌学とフィールド	2	(0-2)	2～3	前又は後	地理学の演習と巡検を行う。
地文301	地域・国際実践力演習 I	2	(0-2)	3	前	卒業論文作成のために必要な指導と演習を行う。
地文302	地域・国際実践力演習 II	2	(0-2)	3	後	卒業論文作成のために必要な指導と演習を行う。
地文401	地域・国際実践力演習 III	2	(0-2)	4	前	卒業論文作成のために必要な指導と演習を行う。
地文402	地域・国際実践力演習 IV	2	(0-2)	4	後	卒業論文作成のために必要な指導と演習を行う。

博物館関連授業

科目番号	授 業 科 目	単位数	週時間	受講年次	学 期	授 業 内 容
博101	博物館概論	2	(2-0)	2～3	前又は後	博物館学の概要に関する講義を行う。
博102	生涯学習概論	2	(2-0)	2～3	前又は後	生涯学習に関する講義を行う。
博201	博物館経営論	2	(2-0)	2～3	前又は後	博物館の経営についての講義を行う。
博202	博物館資料論	2	(2-0)	2～3	前又は後	博物館の資料についての講義を行う。
博203	博物館資料保存論	2	(2-0)	2～3	前又は後	博物館資料の保存についての講義を行う。
博204	博物館展示論	2	(2-0)	2～3	前又は後	博物館の展示についての講義を行う。
博205	博物館教育論	2	(2-0)	2～3	前又は後	博物館の教育についての講義を行う。
博206	博物館情報・メディア論	2	(2-0)	2～3	前又は後	博物館の情報・メディアについての講義を行う。
博301	博物館実習 I	2	(0-4)	4	前又は後	博物館実習の基礎を習得する。
博302	博物館実習 II	2	(0-4)	4	前又は後	博物館での実習を行う。

※地域文化科学プログラムの学生は、博物館実習 I・II は地域・国際実践力科目、それ以外は地域文化科学プログラム専門科目（基礎科目）になる。

プログラム専門科目（昼間主コース）
 地域文化科学プログラム専門科目（基礎科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
地文101	社会人類学Ⅱ	2	1	後		地文245	世界史研究Ⅱ（西洋史）	2	2～3	前又は後	
地文102	考古学Ⅱ	2	1	後		地文246	世界史研究Ⅲ（東洋史または西洋史）	2	2～3	前又は後	
地文103	民俗学Ⅱ	2	1	後		地文247	世界史研究Ⅳ（東洋史）	2	2～4	前又は後	
地文201	地域文化科学リテラシー	2	2	前又は後		地文248	世界史研究Ⅴ（西洋史）	2	2～4	前又は後	
地文211	人文地理学概論	2	2	前		地文249	世界史研究Ⅵ（東洋史または西洋史）	2	2～4	前又は後	
地文212	地理学実験Ⅰ	1	2	前		地文261	社会人類学調査法Ⅰ	2	2	前又は後	
地文213	地理学実験Ⅱ	1	2	後		地文262	考古学研究方法論Ⅰ	2	2	前又は後	
地文214	地理空間情報学	2	2	後		地文263	民俗学調査法Ⅰ	2	2	前又は後	
地文215	経済地理学	2	2～3	前又は後		地文264	社会人類学説史	2	2～3	前又は後	
地文216	島嶼地理学	2	2～3	前又は後		地文265	民族誌Ⅰ	2	2～3	前又は後	
地文217	文化地理学	2	2～3	前又は後		地文266	民族誌Ⅱ	2	2～3	前又は後	
地文218	地形学	2	2～3	前又は後		地文267	民族誌Ⅲ	2	2～3	前又は後	
地文219	水文環境学	2	2～3	前又は後		地文268	民族誌Ⅳ	2	2～3	前又は後	
地文231	日本史実践演習Ⅰ	2	2	前又は後		地文269	考古学史	2	2～3	前又は後	
地文232	日本史実践演習Ⅱ	2	2	前又は後		地文311	地理学実験Ⅲ	1	3	前	
地文233	日本史実践演習Ⅲ	2	2	前又は後		地文312	地理学実験Ⅳ	1	3	後	
地文234	世界史実践演習Ⅰ（東洋史）	2	2	前又は後		地文313	社会人類学調査法Ⅱ	2	3	前又は後	
地文235	世界史実践演習Ⅱ（西洋史）	2	2	前又は後		地文314	考古学研究方法論Ⅱ	2	3	前又は後	
地文236	世界史実践演習Ⅲ（東洋史または西洋史）	2	2	前又は後		地文315	民俗学調査法Ⅱ	2	3	前又は後	
地文237	文化史	2	2～3	前又は後		博101	博物館概論	2	2～3	前又は後	
地文238	日本史研究Ⅰ	2	2～3	前又は後		博102	生涯学習概論	2	2～3	前又は後	
地文239	日本史研究Ⅱ	2	2～3	前又は後		博201	博物館経営論	2	2～3	前又は後	
地文240	日本史研究Ⅲ	2	2～3	前又は後		博202	博物館資料論	2	2～3	前又は後	
地文241	日本史研究Ⅳ	2	2～4	前又は後		博203	博物館資料保存論	2	2～3	前又は後	
地文242	日本史研究Ⅴ	2	2～4	前又は後		博204	博物館展示論	2	2～3	前又は後	
地文243	日本史研究Ⅵ	2	2～4	前又は後		博205	博物館教育論	2	2～3	前又は後	
地文244	世界史研究Ⅰ（東洋史）	2	2～3	前又は後		博206	博物館情報・メディア論	2	2～3	前又は後	

プログラム専門科目（昼間主コース）
 地域文化科学プログラム専門科目（応用科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
地文306	教職応用演習Ⅰ	2	3	前又は後		地文368	考古学研究Ⅱ（地域別課題）	2	2～4	前又は後	
地文307	教職応用演習Ⅱ	2	3	前又は後		地文369	考古学研究Ⅲ（時間別課題）	2	2～4	前又は後	
地文321	人文地理学研究	2	3	前又は後		地文370	考古学研究Ⅳ（時間別課題）	2	2～4	前又は後	
地文322	自然地理学研究	2	3	前又は後		地文371	考古学研究Ⅴ（方法論的課題）	2	2～4	前又は後	
地文323	地誌学研究	2	3	前又は後		地文372	考古学研究Ⅵ（方法論的課題）	2	2～4	前又は後	
地文324	地理空間分析Ⅰ（GIS）	1	3	前又は後		地文373	民俗学研究Ⅰ（社会伝承）	2	2～4	前又は後	
地文325	地理空間分析Ⅱ（GIS）	1	3	前又は後		地文374	民俗学研究Ⅱ（経済伝承）	2	2～4	前又は後	
地文326	人文地理学実践研究	2	3	前又は後		地文375	民俗学研究Ⅲ（信仰伝承）	2	2～4	前又は後	
地文327	自然地理学実践研究	2	3	前又は後		地文376	民俗学研究Ⅳ（儀礼伝承）	2	2～4	前又は後	
地文328	地誌学実践研究	2	3	前又は後		地文377	民俗学研究Ⅴ（地域別課題）	2	2～4	前又は後	
地文341	日本史実践演習Ⅳ	2	3	前又は後		地文378	民俗学研究Ⅵ（方法論的課題）	2	2～4	前又は後	
地文342	日本史実践演習Ⅴ	2	3	前又は後		地文379	自然遺産と博物館	2	3～4	前又は後	
地文343	日本史実践演習Ⅵ	2	3	前又は後		地文380	文化財と博物館	2	3～4	前又は後	
地文344	世界史実践演習Ⅳ（東洋史）	2	3	前又は後		地文381	沖縄民俗社会論	2	3～4	前又は後	
地文345	世界史実践演習Ⅴ（西洋史）	2	3	前又は後		地文382	沖縄考古学論	2	3～4	前又は後	
地文346	世界史実践演習Ⅵ（東洋史または西洋史）	2	3	前又は後		地文383	水中考古学	2	3～4	前又は後	
地文361	社会人類学研究Ⅰ（地域別課題）	2	2～4	前又は後		地文400	卒業研究	2	4	後	
地文362	社会人類学研究Ⅱ（方法論的課題）	2	2～4	前又は後							
地文363	社会人類学研究Ⅲ（地域別課題）	2	2～4	前又は後							
地文364	社会人類学研究Ⅳ（方法論的課題）	2	2～4	前又は後							
地文365	社会人類学研究Ⅴ（地域別課題）	2	2～4	前又は後							
地文366	社会人類学研究Ⅵ（方法論的課題）	2	2～4	前又は後							
地文367	考古学研究Ⅰ（地域別課題）	2	2～4	前又は後							

プログラム専門科目（昼間主コース）

地域文化科学プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）

科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考	科目番号	授業科目	単位	年次	学期	備考
地文200	地域文化科学フィールドワークⅠ	2	2	前		地文302	地域・国際実践力演習Ⅱ	2	3	後	
地文300	地域文化科学フィールドワークⅡ	2	3	前		地文401	地域・国際実践力演習Ⅲ	2	4	前	
地文221	人文地理学とフィールド	2	2～3	前又は後		地文402	地域・国際実践力演習Ⅳ	2	4	後	
地文222	自然地理学とフィールド	2	2～3	前又は後		博301	博物館実習Ⅰ	2	4	前又は後	
地文223	地誌学とフィールド	2	2～3	前又は後		博302	博物館実習Ⅱ	2	4	前又は後	
地文301	地域・国際実践力演習Ⅰ	2	3	前							

卒業要件 地域文化科学プログラム（昼間主コース）

授業科目の区分		必修	選択	選択必修	
共通教育	教養領域	健康運動系科目	2	6	
		人文系科目	2		
		社会系科目	2		
		自然系科目	2		
	総合領域	総合			
		琉大特色科目・地域創生科目	4		
		キャリア関係科目			
	基幹領域	情報関係科目			
		第1外国語	8		
		第2外国語	4		
小計		24	6		
共通教育科目総計		30			
専門教育	学部共通基盤専門科目	専門基盤力科目	8	6	
		地域・国際基盤力科目（プログラム系科目）		6	
		地域・国際基盤力科目（プログラム複合科目）			4
	プログラム専門科目	地域文化科学プログラム専門科目	4	24	4
		地域・国際実践力科目	12		
	地域・国際実践力科目（読替科目）			26	
	小計		24	62	8
専門教育科目総計		94			
総単位数		124			

- 卒業単位は合計124単位以上とする。
- 共通教育科目は30単位とする。

教養領域	健康運動系科目	2単位以上
	人文系科目	2単位以上
	社会系科目	2単位以上
	自然系科目	2単位以上
総合領域	琉大特色・地域創生及びキャリア関係科目	4単位以上
健康運動系科目を除く教養領域・総合領域及び情報関係科目		6単位以上
基幹領域	第1外国語	8単位以上
	第2外国語	4単位以上

注1) 共通教育等の履修要件の詳細については「琉球大学共通教育等履修規程」及び同規程別表3「各学部学科等別共通教育等履修基準表」を参照すること。

- 専門科目は94単位以上とする。
 - 学部共通基盤専門科目は以下のとおり合計24単位以上を履修する。
 - 専門基盤力科目は、基礎演習（2単位・必修）を含む14単位以上を履修する。
 - ・専門基盤力科目のうち、地域文化科学プログラム提供の歴史総合（2単位）、地理総合（2単位）、人類文化入門（2単位）の3科目及び、2つ以上の他のプログラム提供の科目をそれぞれ1科目以上履修する。
 - 地域・国際基盤力科目は、10単位以上履修する。
 - ・プログラム系科目を6単位以上履修する。
 - ・プログラム複合科目（選択必修）4単位以上を履修する。
 - プログラム専門科目は以下のとおり合計70単位以上を履修する。
 - 地域文化科学プログラム専門科目は、地域文化科学リテラシー（2単位・必修）、卒業研究（2単位・必修）を含む32単位以上を履修する。
 - 卒業論文を書く前に、地理学実験Ⅰ～Ⅳ（4単位）、日本史実践演習（Ⅰ～Ⅵから2科目4単位）、世界史実践演習（Ⅰ～Ⅵから2科目4単位）、社会人類学調査法Ⅰ・Ⅱ（4単位）、考古学研究方法論Ⅰ・Ⅱ（4単位）、民俗学調査法Ⅰ・Ⅱ（4単位）のいずれかを履修していることを原則とする。
 - 地域・国際実践力科目は、地域文化科学フィールドワークⅠ・Ⅱ（必修・4単位）、地域・国際実践力演習Ⅰ～Ⅳ（必修・8単位）を含む12単位以上を履修する。
 - 他プログラム・他学部提供の専門科目・教職科目は、プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）の単位として読み替えることができる。
 - 学部共通基盤専門科目（24単位）及びプログラム専門科目（32単位）を超過した分は、プログラム専門科目（地域・国際実践力科目）の単位として読み替えることができる。
 - 一学期に登録できる単位数の上限は20単位（共通教育科目を含め）とする。ただし、集中講義はこの中に含まない。
 - 直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は、指導教員の指導・承認を得て26単位までの登録を認める。
 - GPAの値にかかわらず、教員免許・博物館学芸員等の資格取得予定者は、指導教員の指導・承認を得て登録単位の上積みをも6単位まで認める。ただし、超過する分は資格取得に必要な該当科目とする。
 - 資格取得希望者に該当する者のGPAが3.0以上の場合でも26単位までとする。

注2) 夜間主の科目については、10単位以内は卒業単位として認める。